株式会社 日立産機システム HIE_HSIO_JA_28 3/2024

H シリーズ SIO ドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	10
3	通信設定例	11
4	設定項目	
5	結線図	
6	使用可能デバイス	
7	デバイスコードとアドレスコード	251
8	エラーメッセージ	

はじめに

本書は表示器と接続機器を接続する方法について説明します。

本書では接続方法を以下の順に説明します。



1 システム構成

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
	H-20, H-28, H-40, H-64	CPU ユニット 上のポート	RS232C	設定例 1 (11 ページ)	「 結線図 1」 (108 ページ)
	H-200(CPU-02H) ^{*1} H-250(CPU21-02H) ^{*1} H-252B(CPU22-02HB) ^{*1}	CPU ユニット 上のポート	RS232C	設定例 1 (11 ページ)	「 結線図 1」 (108 ページ)
	H-252C(CPU22-02HC) ^{*1 *2}	CPU ユニット 上のポート	RS232C	設定例 1 (11 ページ)	「 結線図 1」 (108 ページ)
	H-300(CPU-03Ha) ^{*1}	CPU ユニット 上のポート	RS232C	設定例 1 (11 ページ)	「 結線図 1」 (108 ページ)
H(伝送制 御手順 1)	H-700(CPU-07Ha) ^{*1} H-2000(CPU-20Ha) ^{*1}	COMM-H COMM-2H	RS232C	設定例 2 (13 ページ)	「 結線図 1」 (108 ページ)
	H-2002(CPU2-20H)		RS422/485 (4 線式)	設定例 3 (15 ページ)	「 結線図 2」 (111 ページ)
	H-302(CPU2-03H) ^{*1} H-702(CPU2-07H) ^{*1} H-4010(CPU3-40H) ^{*1}	CPU ユニット 上のポート	RS232C	設定例 1 (11 ページ)	「 結線図 1」 (108 ページ)
		СОММ-2Н	RS232C	設定例 2 (13 ページ)	「 結線図 1」 (108 ページ)
	H-1002(CPU2-10H)		RS422/485 (4 線式)	設定例 3 (15 ページ)	「 結線図 2」 (111 ページ)
H(伝送制 御手順 2)	H-300(CPU-03Ha) H-700(CPU-07Ha)		RS232C	設定例 4 (17 ページ)	「 結線図 1」 (108 ページ)
	H-2000(CPU-20Ha) H-302(CPU2-03H) H-702(CPU2-07H) H-2002(CPU2-20H) H-4010(CPU3-40H) H-1002(CPU2-10H)	СОММ-2Н	RS422/485 (4 線式)	設定例 5 (19 ページ)	「 結線図 2」 (111 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
	EH-150(EH-CPU104) EH-150(EH-CPU104A) EH-150(EH-CPU208) EH-150(EH-CPU208A) EH-150(EH-CPU308) EH-150(EH-CPU316)	CPU ユニット 上のシリアル ポート1 CPU ユニット 上のシリアル ポート2	RS232C	設定例 6 (21 ページ)	結線図 3 (119 ページ)
			RS232C	設定例 6 (21 ページ)	結線図 3 (119 ページ)
	EH-150(EH-CPU308A) EH-150(EH-CPU316A) EH-150(EH-CPU449)	CPU ユニット 上のシリアル ポート 1	RS422/485 (4 線式)	設定例 7 (23 ページ)	結線図 4 (122 ページ)
EH-150	EH-150(EH-CPU448) EH-150(EH-CPU448A) EH-150(EH-CPU516)		RS422/485 (2 線式)	設定例 8 (25 ページ)	結線図 5 (131 ページ)
(伝送制御 手順 1)	EH-150(EH-CPU548)	CPU ユニット 上のシリアル ポート 2	RS232C	設定例 6 (21 ページ)	結線図 3 (119 ページ)
	EH-150(EH-CPU516) EH-150(EH-CPU548)	EH-SIO ユニッ ト上のポート 1 ^{*3}	RS232C	設定例 9 (27 ページ)	結線図 12 (207 ページ)
		EH-SIO ユニッ ト上のポート 2 ^{*3}	RS232C ^{*4}	設定例 10 (29 ページ)	結線図 12 (207 ページ)
			RS422/485 (4 線式) ^{*4}	設定例 11 (31 ページ)	結線図 6 (144 ページ)
			RS422/485 (2 線式) ^{*4}	設定例 12 (33 ページ)	結線図 7 (152 ページ)
	EH-150(EH-CPU104A) EH-150(EH-CPU208A)	CPU ユニット 上のシリアル ポート 1	RS232C	設定例 13 (35 ページ)	結線図 3 (119 ページ)
	EH-150(EH-CPU308A) EH-150(EH-CPU316A) EH-150(EH-CPU448) EH-150(EH-CPU448A) EH-150(EH-CPU516) EH-150(EH-CPU548)		RS232C	設定例 13 (35 ページ)	結線図 3 (119 <i>ペ</i> ージ)
		CPU ユニット 上のシリアル ポート 1	RS422/485 (4 線式)	設定例 14 (37 ページ)	結線図 4 (122 ページ)
EH-150 (伝送制御 手順 2)			RS422/485 (2 線式)	設定例 15 (39 ページ)	結線図 5 (131 ページ)
	EH-150(EH-CPU516)	EH-SIO ユニッ ト上のポート 1 ^{*3}	RS232C	設定例 16 (41 ページ)	結線図 12 (207 ページ)
			RS232C ^{*4}	設定例 17 (43 ページ)	結線図 12 (207 ページ)
	EH-130(EH-Cr0348)	EH-SIO ユニッ ト上のポート 2*3	RS422/485 (4 線式) ^{*4}	設定例 18 (45 ページ)	結線図 6 (144 ページ)
			RS422/485 (2 線式) ^{*4}	設定例 19 (47 ページ)	結線図 7 (152 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
	$\begin{array}{l} \text{MICRO-EH(EH-D10 \square \square)}^{*5} \\ \text{MICRO-EH(EH-A14 \square \square)}^{*5} \\ \text{MICRO-EH(EH-D14 \square \square)}^{*5} \end{array}$	CPU ユニット 上のポート 1	RS232C	設定例 20 (49 ページ)	結線図 3 (119 ページ)
		CPU ユニット 上のポート 1	RS232C	設定例 20 (49 ページ)	結線図 3 (119 ページ)
	MICRO-EH(EH-D23DDD)*5 MICRO-EH(EH-A28DDD)*5	CPUZZWA	RS422/485 (4 線式)	設定例 21 (51 ページ)	結線図 8 (165 ページ)
MICRO- EH (伝送制御	MICKO-EH(EH-D28	上のポート2	RS422/485 (2 線式)	設定例 22 (53 ページ)	結線図 9 (173 ページ)
手順1)		CPU ユニット 上のポート	RS232C	設定例 20 (49 ページ)	結線図 3 (119 <i>ページ</i>)
	$MICRO-EH(EH-A04\squareD)^{*5}$ $MICRO-EH(EH-A40\squareD)^{*5}$	EH-OB232 ^{*6}	RS232C	設定例 23 (55 ページ)	結線図 3 (119 <i>ペ</i> ージ)
	MICRO-EH(EH-D40 \square) ^{*5} MICRO-EH(EH-A20 \square) ^{*5} MICRO-EH(EH-D20 \square) ^{*5}	EH OB485 ^{*7}	RS422/485 (4 線式)	設定例 24 (57 ページ)	結線図 10 (186 ページ)
		EII-0B485	RS422/485 (2 線式)	設定例 25 (59 ページ)	結線図 11 (194 ページ)
	$\begin{array}{l} \text{MICRO-EH(EH-D10 \square \square)}^{*5} \\ \text{MICRO-EH(EH-A14 \square \square)}^{*5} \\ \text{MICRO-EH(EH-D14 \square \square)}^{*5} \end{array}$	CPU ユニット 上のポート 1	RS232C	設定例 26 (61 ページ)	結線図 3 (119 ページ)
	MICRO-EH(EH-A23 []]) ^{*5} MICRO-EH(EH-D23 []]) ^{*5} MICRO-EH(EH-A28 []]) ^{*5} MICRO-EH(EH-D28 []]) ^{*5}	CPU ユニット 上のポート 1	RS232C	設定例 26 (61 ページ)	結線図 3 (119 ページ)
		CPU ユニット 上のポート 2	RS422/485 (4 線式)	設定例 27 (63 ページ)	結線図 8 (165 ページ)
MICRO- EH (伝送制御			RS422/485 (2 線式)	設定例 28 (65 ページ)	結線図 9 (173 ページ)
手順 2)	MICRO-EH(EH-A64 \square) ^{*5} MICRO-EH(EH-D64 \square) ^{*5} MICRO-EH(EH-A40 \square) ^{*5} MICRO-EH(EH-D40 \square) ^{*5} MICRO-EH(EH-A20 \square) ^{*5} MICRO-EH(EH-A20 \square) ^{*5}	CPU ユニット 上のポート	RS232C	設定例 26 (61 ページ)	結線図 3 (119 <i>ペ</i> ージ)
		EH-OB232 ^{*6}	RS232C	設定例 29 (67 ページ)	結線図 3 (119 <i>ページ</i>)
		EH OD 405* 7	RS422/485 (4 線式)	設定例 30 (69 ページ)	結線図 10 (186 ページ)
		EII-0 D 485	RS422/485 (2 線式)	設定例 31 (71 ページ)	結線図 11 (194 ページ)
Web コン トローラ (伝送制御 手順1お よび2)	EH-WD10DR	CPU ユニット 上のシリアル ポート	RS232C	設定例 32 (73 ページ)	結線図 3 (119 <i>ペ</i> ージ)
			RS232C	設定例 40 (89 ページ)	結線図 3 (119 <i>ペ</i> ージ)
	EH-WA23DR	CPU ユニット 上のシリアル ポート	RS422/485 (4 線式)	設定例 41 (91 ページ)	結線図 13 (209 ページ)
			RS422/485 (2 線式)	設定例 42 (93 ページ)	結線図 14 (217 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		CPU ユニット 上のシリアル	RS232C	設定例 33 (75 ページ)	結線図 3 (119 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 34 (77 ページ)	結線図 4 (122 ページ)
		~ 1	R422/S485 (2 線式)	設定例 35 (79 ページ)	結線図 5 (131 ページ)
EHV (伝送制御 手順1お よび2)	EHV-CPU128 EHV-CPU64 EHV-CPU32 EHV-CPU16	EH-SIO ユニッ ト上のポート RS232C 1 ^{*8}	設定例 36 (81 ページ)	結線図 12 (207 ページ)	
			RS232C	設定例 37 (83 ページ)	結線図 12 (207 ページ)
		EH-SIO ユニッ ト上のポート 2 ^{*8}	RS422/485 (4 線式)	設定例 38 (85 ページ)	結線図 6 (144 ページ)
			RS422/485 (2 線式)	設定例 39 (87 ページ)	結線図 7 (152 ページ)
MICRO- EHV シリーズ (伝送制御 手順1)	MVH-A64 MVH-D64 MVH-A40 MVH-D40 MVL-A64 MVL-A64 MVL-D64 MVL-A40 MVL-A40 MVL-D40	基本ユニット 上の標準シリ アル通信ポー ト	RS232C	設定例 43 (95 ページ)	結線図 3 (119 ページ)
		OBV-NES 上の 通信ポート	RS422/485 (2 線式)	設定例 44 (97 ページ)	結線図 15 (230 ページ)
MICRO- EHV シリーズ	MVH-A64 MVH-D64 MVH-A40 MVH-A40	基本ユニット 上の標準シリ アル通信ポー ト	RS232C	設定例 45 (99 ページ)	結線図 3 (119 ページ)
(伝送制御 手順 2)	MVL-A04	OBV-NES 上の 通信ポート	RS422/485 (2 線式)	設定例 46 (101 ページ)	結線図 15 (230 ページ)

- *1 CPU モジュールのペリフェラルポートへ接続してください。
- *2 CPU ユニット上のペリフェラルポート 2 を使用する場合、8 ピンコネクタと D-sub15 ピンコネクタとの間に㈱ 日立産機システム製 CNCOM-05 変換ケーブルが必要です。
- *3 EH-SIO のソフトウェアがバージョン 2.0 以降の場合は Procedure 1 を、バージョン 2.1 以降の場合は Procedure 2 をサポートしています。さらに、EH-CPU548(Ver.E402 以降)/EH-CPU516(Ver.E202 以降)のみ EH-SIO を使用できます。
- *4 Bit8 はポート2のインタフェース選択(RS232C あるいは RS422/485)に使用します。
- *5 接続機器の機種番号"□"は各接続機器の仕様によって異なります。
- *6 通信ボード (RS232C) です。CPU バージョンが Ver.0101 以降の CPU で使用できます。
- *7 通信ボード(RS422/RS485)です。CPUバージョンが Ver.0100 以降の CPU で使用できます。
- *8 EH-SIO のソフトウェアがバージョン 2.0 以降の場合は Procedure 1 を、バージョン 2.1 以降の場合は Procedure 2 をサポートしています。

■ IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

\$	使用可能ポート				
	RS-232C	RS-422/485(4 線式)	RS-422/485(2 線式)		
PS-2000B	$\begin{array}{c} \text{COM1}^{*1}, \text{ COM2},\\ \text{COM3}^{*1}, \text{ COM4} \end{array}$		-		
PS-3450A、PS-3451A、 PS3000-BA、PS3001-BD	COM1、COM2 ^{*1*2}	COM2 ^{*1*2}	COM2 ^{*1*2}		
PS-3650A(T41 機種)、 PS-3651A(T41 機種)	COM1 ^{*1}	-	-		
PS-3650A(T42 機種)、 PS-3651A(T42 機種)	COM1 ^{*1*2} , COM2	COM1 ^{*1*2}	COM1 ^{*1*2}		
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 ^{*1} , COM2 ^{*1} , COM3 ^{*2} , COM4	COM3*2	COM3 ^{*2}		
PS-3711A	COM1 ^{*1} 、COM2 ^{*2}	COM2 ^{*2}	COM2 ^{*2}		
PS4000 ^{*3}	COM1、COM2	-	-		
PL3000	COM1 ^{*1*2} , COM2 ^{*1} , COM3, COM4	COM1*1*2	COM1*1*2		
PE-4000B Atom N270	COM1、COM2	-	-		
PE-4000B Atom N2600	00B Atom N2600 COM1, COM2		COM3 ^{*4} 、COM4 ^{*4} 、 COM5 ^{*4} 、COM6 ^{*4}		
PS5000 (スリムパネルタ イプ Core i3 モデル) ^{*5 *6}	COM1、COM2 ^{*4}	COM2 ^{*4}	COM2 ^{*4}		
PS5000(スリムパネルタ イプ Atom モデル) ^{*5 *6}	COM1、COM2 ^{*7}	COM2 ^{*7}	COM2 ^{*7}		
PS5000(耐環境パネルタ イプ) ^{*8}	COM1	-	-		
PS5000 (モジュラータイ プ PFXPU/PFXPP) ^{*5 *6} PS5000 (モジュラータイ プ PFXPL2B5-6)	COM1 ^{*7}	COM1 ^{*7}	COM1 ^{*7}		
PS5000(モジュラータイ プ PFXPL2B1-4)	COM1、COM2 ^{*7}	COM2 ^{*7}	COM2 ^{*7}		
PS6000(アドバンスド ボックス) PS6000(スタンダード ボックス) COM1 ^{*9}		*10	*10		
PS6000(ベーシックボッ クス) COM1 ^{*9}		COM1 ^{*9}	COM1 ^{*9}		

*1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

*2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、以下のように設定してください。

- *3 拡張スロットに搭載した COM ポートと接続機器を通信させる場合、通信方式は RS-232C のみ サポートします。ただし、COM ポートの仕様上、ER(DTR/CTS) 制御はできません。 接続機器との接続には自作ケーブルを使用し、ピン番号 1、4、6、9 には何も接続しないでくだ さい。ピン配列は IPC のマニュアルを参照してください。
- *4 通信方式を BIOS で設定する必要があります。BIOS の詳細は IPC のマニュアルを参照してくだ さい。
- *5 RS-232C/422/485 インターフェイスモジュールと接続機器を通信させる場合、IPC(RS-232C) または PS5000(RS-422/485)の結線図を使用してください。ただし PFXZPBMPR42P2 をフロー制御なしの RS-422/485(4 線式)として使用する場合は 7.RTS+ と 8.CTS+、6.RTS- と 9.CTS- を接続してください。 接続機器との接続で RS-422/485 通信を使用するときには通信速度を落として送信ウェイトを増やすことが必要な場合があります。
- *6 RS-232C/422/485 インターフェイスモジュールで RS-422/485 通信を使用するにはディップス イッチの設定が必要です。サポート専用サイトの「よくある質問」(FAQ)を参照してください。 (http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html)

項目	FAQ ID
PFXZPBMPR42P2のRS422/485切り替え方法	FA263858
PFXZPBMPR42P2の終端抵抗設定	FA263974
PFXZPBMPR44P2のRS422/485切り替え方法	FA264087
PFXZPBMPR44P2の終端抵抗設定	FA264088

- *7 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。ディップスイッチの詳細は IPC のマニュアルを参照してください。 ボックス Atom には RS-232C、RS-422/485 モードを設定するスイッチがありません。通信方式は BIOS で設定してください。
- *8 接続機器との接続には自作ケーブルを使用し、表示器側のコネクタを M12 A コード 8 ピン (ソ ケット)に読み替えてください。ピン配列は結線図に記載している内容と同じです。M12 A コー ドのコネクタには PFXZPSCNM122 を使用してください。
- *9 本体上の COM1 以外に、オプションインターフェイス上の COM ポートを使用することもできます。
- *10 拡張スロットにオプションインターフェイスを取り付ける必要があります。

ディップスイッチの設定 (PL3000/PS3000 シリーズ)

RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF ^{*1}	予約(常時 OFF)	
2	OFF	通信士士 . BS 2220	
3	OFF	- 通信方式:RS-232C	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB) と RDB(RXB) の短絡:しない	

ディップスイッチ	設定値	設定内容
9	OFF	- RS(RTS) 自動制御モード: 無効
10	OFF	

*1 PS-3450A、PS-3451A、PS3000-BA、PS3001-BD を使用する場合のみ設定値を ON にする 必要があります。

RS-422/485(4 線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	通信士士·BS 422/495	
3	ON	通信万式, KS-422/485	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω) : なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)と RDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	DC(DTC) 白動判御エード, 毎	
10	OFF	- K5(K15) 日期前御モート:無効	

RS-422/485(2 線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	· 通信卡式 · BS /22//85	
3	ON	地向力式 · K3-422/405	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	ON	SDA(TXA)と RDA(RXA)の短絡:する	
8	ON	SDB(TXB)と RDB(RXB)の短絡:する	
9	ON	DC(DTC) 白動判御エード・方効	
10	ON	- K5(K15)日期前御七一下:有刻	

2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

🏄 ようこそ GP-Pro EX ヘ		×
G2-2co	接続機器設定	
	接続機器数 1 🚞 🗰	
	接続機器1	
	メーカー (株)日立産機システム	-
	シリーズ H シリーズ SIO	
	ポート COM1	▼
	この接続機器のマニュアルを見る	
	最近使った接続機器	
	■ システムエリアを使用する	機器接続マニュアルへ
	戻る (B)通信設定 ロジック画面作成	ベース画面作成 キャンセル

設定項目	設定内容
接続機器数	設定するシリーズ数を「1~4」で入力します。
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「㈱日立産機システム」を選択しま す。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「H シリーズ SIO を選択します。 「H シリーズ SIO で接続できる接続機器はシステム構成で確認してください。
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。
	表示器のシステムデータエリアと接続機器のデバイス(メモリ)を同期させる場合にチェックします。同期させた場合、接続機器のラダープログラムで表示器の 表示を切り替えたりウィンドウを表示させることができます。
システムエリアを使用	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方 式専用エリア)」
する	この設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードでも設定できます。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「システム設定 [本体設定] - [システムエリア設定] の設定ガイド」
	参照 : 保守 / トラブル解決ガイド「本体設定 - システムエリア設定」

3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

3.1 設定例 1

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー (株)日立	産機システム	シリーズ 田 シ	バーズ SIO	[*] ポート ⊂ОМ1
文字列データモート	: <u>1 変更</u>			
通信設定				
通信方式	RS232C	〇 RS422/485(2線	式) 🔿 RS422/485(4線式)	
通信速度	19200	•		
データ長	⊙ 7	08		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	● 1	O 2		
フロー制御	○ なし	 ER(DTR/CTS) 	XON/XOFF	
タイムアウト	3 📑 (sec)		
リトライ	2 🔅			
送信ウェイト	0 🗄 6	ms)		
伝送制御手順	伝送制御手順1	•		
RI / VCC	• RI	O VCC		
RS232Cの場合、 にするかを選択で	9番ピンをRI(入力)に (きます。デジタル製R)	:するかVCCにV電源供 S232Cアイソルーション	共給) フーッ	
トを使用する場合	fは、VOCを選択して	ください。	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数	16台 機器	<u>を追加</u>		
No 機器名	設定			間接機器
1 PLC1		ー ニH シリーズ		
,	RET 1			<u> </u>
	土信山」ノレク	いいではいは彼	燃売にとって用わります	洋畑は佐雄姫のマーン
• •	ご后リエイト0	ノ取止胆は按統'	機研によつ (乗なりまう	。
)	レを変照ししく	、につい。		

+分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 📻 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変〕 るアドレスを育	H シリーズ 更した場合は、す 「確認してください	▼ でに使用されてい。
号機 No.	þ	初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(CPU ユニット上のポート: H-4010 のみ)

通信設定は CPU ユニットのスイッチで行います。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ モード設定スイッチ

• DIPSW1

ディップスイッチ	設定	内容
SW03	OFF	ポート1の伝送速度:19,200 bps
SW04	OFF	ポート2の伝送速度:19,200 bps

MEMO

• その他の伝送速度の設定は以下のとおりです。

ディップスイッチ	設定	内容
SW03	ON	ポート1の伝送速度: 38,400 bps
SW04	ON	ポート2の伝送速度: 38,400 bps

3.2 設定例 2

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 【(株)日立産機システム シリーズ [H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C 〇 RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 〇 なし ④ 偶数 〇 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
UF54 2 🚍	
送信ウェイト 🛛 🚍 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順1 ▼	
RI/VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかも発想できます。デジカル制PS222Cアインル、ジョンフェッ	
トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No继号在副学	間接機器
1 PLC1 1 PLC1 1 PLC1	

МЕМО

・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

+分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機	番設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変 るアドレスを頼	H シリーズ 更した場合は、す 再確認してください。	▼ でに使用されてい 。
号機 No.	D	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(COMM-H、COMM-2H)

通信設定はリンク I/F ユニットのスイッチで設定を行います。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	ビット長:7ビット
02	ON	
03	ON	ボーレート伝送速度: 19,200 bps
04	ON	
05	ON	パリティ有/無:有
06	ON	パリティ偶/奇:偶数
07	OFF	ストップビット長:1ビット
08	ON	サムチェック有/無:有

◆ 局番設定ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	内容
×10	0	接続機器の局番(+ の位)
×1	0	接続機器の局番(-の位)

◆ モード設定ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	内容
MODE	2	伝送手順:伝送手順1

3.3 設定例 3

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

概要 メーカー (株)日立産機システム シリーズ H シリーズ SIO ポート (COM1
メーカー 「(株)日立産機システム シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1
文字列データモード 1 変更
通信設定
通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) © RS422/485(4線式)
通信速度 19200 🔽
データ長 💿 7 🔘 8
パリティ C なし O 偶数 C 奇数
ストップビット 💿 1 🔿 2
フロー制御 C なし O ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト 3 🚊 (sec)
<u> </u>
送信ウェイト 0 <u></u> (ms)
伝送制御手順 伝送制御手順1 ▼
RL/VCC © RL O VCC
RS2320の場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル制約22300アイバルージョンコニッ
トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定
·····································
接続可能台数 16台 機器を追加
No. 機器名 設定 間接機器 attra
□ 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012 201

МЕМО

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機	播設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変 るアドレスを	Hシリーズ 更した場合は、すでに使用さ 再確認してください。	・ れてい
号機 No.	þ	
	2011月1日	锭
	OK(Q) キャンセル	

■ 接続機器の設定(COMM-H、COMM-2H)

通信設定はリンク I/F ユニットのスイッチで設定を行います。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	ビット長:7ビット
02	ON	
03	ON	ボーレート伝送速度: 19,200 bps
04	ON	
05	ON	パリティ有/無:有
06	ON	パリティ偶/奇:偶数
07	OFF	ストップビット長:1ビット
08	ON	サムチェック有/無:有

◆ 局番設定ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	内容
×10	0	接続機器の局番(+ の位)
×1	0	接続機器の局番(-の位)

◆ モード設定ロータリスイッチ

ロータリ	スイッチ	設定	内容
M	DDE	2	伝送手順:伝送手順1

3.4 設定例 4

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム ジリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ ○なし ○ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 O なし O ER(DTR/CTS) O XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> ሀኑ</u> ታ	
送信ウェイト 0 芸 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順2 ▼	
RI / VCC O RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル型BS232Cアイソルーションコニッ	
トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
1 PLC1 III シリーズ III シリーズ	

MEMO

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変引 るアドレスを再	日シリーズ 更した場合は、す 確認してください。	▼ でに使用されてい 。
号機 No.	D	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(COMM-2H)

通信設定はリンク I/F ユニットのスイッチで設定を行います。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	ビット長:7ビット
02	ON	
03	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps
04	ON	
05	ON	パリティ有/無:有
06	ON	パリティ偶/奇:偶数
07	OFF	ストップビット長:1ビット
08	ON	サムチェック有/無:有

◆ 局番設定ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	内容
×10	0	接続機器の局番(+ の位)
×1	0	接続機器の局番(-の位)

◆ モード設定ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	内容
MODE	9	伝送手順:伝送手順2

3.5 設定例 5

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー ((株)日立産	懇システム シリーズ H シリーズ SIO	ポート Сом1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	○ RS232C ○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)	
通信速度	19200	
データ長	• 7 C 8	
パリティ	○ なし ○ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット		
フロー制御	○なし ● ER(DTR/CTS) ○ XON/XOFF	
タイムアウト	3 🚊 (sec)	
リトライ	2	
送信ウェイト	0 🚊 (ms)	
伝送制御手順	伝送制御手順2 💌	
RI / VCC	© RI O VOC	
RS232Cの場合、95 にするかを選択でき トを使用する場合に	番ピンをRI(入力)にするかVOC(5)(電源供給) ます。デジタル製R32320アイソレーションユニッ 、VOCを選択してください。 初期間没定	
機器別設定		
接続可能台数 1	6台 機器を追加	
No. 機器名	設定	間接機器
1 PLC1		
, .	CALL /	L L

MEMO

 ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

+分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機	審設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変 るアドレスをす 号機 No	H シリーズ 更した場合は、すて 再確認してください。 D	▼ でに使用されてい
	, 	 初期設定 キャンセル

■ 接続機器の設定(COMM-2H)

通信設定はリンク I/F ユニットのスイッチで設定を行います。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ 通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	ビット長:7ビット
02	ON	
03	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps
04	ON	
05	ON	パリティ有/無:有
06	ON	パリティ偶/奇:偶数
07	OFF	ストップビット長:1ビット
08	ON	サムチェック有/無:有

◆ 局番設定ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	内容	
×10	0	接続機器の局番(+ の位)	
×1	0	接続機器の局番(-の位)	

◆ モード設定ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	内容
MODE	9	伝送手順:伝送手順2

3.6 設定例 6

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム ジリーズ JH シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ O なし O 偶数 O 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 O なし ④ ER(DTR/CTS) O XON/XOFF	
タイムアウト 3 🚔 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 🛛 🚊 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順1 ▼	
RI / VCC © RI © VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル型RS232Cアイリルーションフェッ	
トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定	
·····································	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
1 PLC1	
	

MEMO ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

+分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定 🛛 🗙 🗙
PLC1
シリーズ Hシリーズ シリーズを変更した場合は、すでに使用されてい るアドレスを再確認してください。
号機 No. 🛛 🚊
初期設定
OK(Q) キャンセル

■ 接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定は CPU ユニットのスイッチで設定を行います。通信方式はラダーソフト(LADDER EDI-TOR for Windows) でアドレス WRF037 に 8000(H)を入力することで RS232C(伝送制御手順1)に設 定されます。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は 接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ モード設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
SW03	ON	ポート 1 の 伝送 速度 + 10 200 kmg
SW04	OFF	小一下10位达述度:19,200 bps
SW05	ON	ポート1の動作:専用ポート
SW06	OFF	ポート 2 の伝送速度 ^{*1} :4,800 bps または 19,200 bps

*1 ポート2の伝送速度を19,200 bps または 38,400 bps に設定する場合はポート切替スイッチを High(ON) にしてください。

ポート2の伝送速度はSW06とPHLスイッチで設定されます。

◆ ポート切替スイッチ

PHL スイッチ	設定	内容
PHL スイッチ	ON	ポート2の動作

MEMO

・ 切替スイッチが ON の場合、PHL 信号が High(ON) になります。

• その他の伝送速度の設定は以下のとおりです。

$< \pi - 1 >$

SW03	SW04	SW05	伝送速度
ON	ON	ON	4,800 bps
OFF	ON	ON	9,600 bps
OFF	OFF	ON	38,400 bps

<ポート2>

SW06	PHL	伝送速度
OFF	OFF	4,800 bps
ON	OFF	9,600 bps
ON	ON	38,400 bps

3.7 設定例 7

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)日立産機ジ	ノステム シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1	<u>変更</u>	
通信設定		
通信方式 C	RS232C C RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)	
通信速度 1	9200 💌	
データ長 💿	7 08	
パリティ C	なし ● 偶数 ● 奇数	
ストップビット 💿	1 02	
70〜制御 C	なし	
タイムアウト 3	(sec)	
リトライ 2		
送信ウェイト 🛛 🛛	(ms)	
伝送制御手順 位	云送制御手順1 ▼	
RI / VCC C	RI OVOC	
RS232Cの場合、9番ピ にするかを選択できます トを使用する場合は、V	ンをRI(入力)にするかVOC(5V電源供給) 。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ /COCを選択してください。 初期設定	
機器別設定		
接続可能台数 16台	<u>機器を追加</u>	
No. 機器名	設定	間接機器
I IPLC1	ジリーズ=H シリーズ,号機 No:=0	4

МЕМО

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

n 🌮 個別機器設定 🛛 🗙 🗙
PLC1
シリーズ Hシリーズ ▼ シリーズを変更した場合は、すでに使用されてい るアドレスを再確認してください。
号機 No. D 🔅
初期設定
OK(<u>O</u>) キャンセル

■ 接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定は CPU ユニットのスイッチで設定を行います。通信方式はラダーソフト(LADDER EDI-TOR for Windows)でアドレス WRF037 に A100(H)^{*1} を入力することで RS422/RS485(伝送制御手順 1)に設定されます。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

*1 終端抵抗を有効にする場合には、B100(H)を入力してください。また、A100(またはB100)の 下位2桁には、表示器側で設定した号機 No. を入力してください。

◆モー	ド設定スイ	ッチ
-----	-------	----

ディップスイッチ	設定	内容
SW03	ON	ポート1の伝送速度,10,200 hms
SW04	OFF	ホート10位达述度:19,200 ops
SW05	ON	ポート1の動作:専用ポート

MEMO

• その他の伝送速度の設定は以下のとおりです。

SW03	SW04	SW05	伝送速度
ON	ON	ON	4,800 bps
OFF	ON	ON	9,600 bps
OFF	OFF	ON	38,400 bps

3.8 設定例 8

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更		
通信設定		
通信方式 C RS232C	● RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)	
通信速度 19200	•	
データ長 💿 7	08	
パリティ 🔿 なし	 ・ 偶数 ○ 奇数 	
ストップビット 💿 1	© 2	
フロー制御 \cdots なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 🛛 🗮 🕼	ec)	
リトライ 2 芸		
送信ウェイト 🛛 🚊 (m	ns)	
伝送制御手順 伝送制御手順1	×	
RI / VCC © RI	O VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にす にするかな遅れできます。デジカル制度	するかVCC(5V電源供給)	
トを使用する場合は、Vocを選択してく	になって、「クロシューター」 ださい。 初期設定	
機器別設定		
接続可能台数 16台 機器を	这自加	
No. 機器名 翻定		間接機器
1 PLC1	:H シリーズ,号機 No.=D	

MEMO

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定 🛛 🗙
PLC1
シリーズ Hシリーズ シリーズ シリーズを変更した場合は、すでに使用されてい るアドレスを再確認してください。
号機 No. 🛛 🚊
初期設定
OK(<u>O</u>) キャンセル

■ 接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定は CPU ユニットのスイッチで設定を行います。通信方式はラダーソフト(LADDER EDI-TOR for Windows)でアドレス WRF037 に A200(H)^{*1}を入力することで RS422/RS485(伝送制御手順 1)に設定されます。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

*1 終端抵抗を有効にする場合には、B200(H)を入力してください。また、A200(またはB200)の 下位2桁には、表示器側で設定した号機 No. を入力してください。

€ –	ド設定スイ	ッチ
-----	-------	----

ディップスイッチ	設定	内容
SW03	ON	ポート1の伝送速度,10,200 here
SW04	OFF	ホート10位达述度:19,200 ops
SW05	ON	ポート1の動作:専用ポート

MEMO

• その他の伝送速度の設定は以下のとおりです。

SW03	SW04	SW05	伝送速度
ON	ON	ON	4,800 bps
OFF	ON	ON	9,600 bps
OFF	OFF	ON	38,400 bps

3.9 設定例 9

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 【(株)日立産機システム ジリーズ 【H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ③ RS232C ④ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 🗨	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 〇 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 O なし ④ ER(DTR/CTS) O XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🚍	
送信ウェイト 🛛 🚊 (ms)	
伝送制御手順	
RI / VCC RI VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC65V電源供給) にするかを選択できます。デジタル制BS222Cアイソルージョンコニッ	
トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No #器名 翻定	間接機器
1 PLC1 1 PLC1 1 PLC1 1 アレウエズ=H シリーズ	

MEMO

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変] るアドレスを調	田シリーズ 更した場合は、す 耳確認してください。	▼ でに使用されてい
号機 No.	p	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	OFF	常時 OFF

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.10 設定例 10

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ③ RS232C ④ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ O なし O 偶数 O 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🚍 (sec)	
リトライ 2 🚍	
送信ウェイト 0 😑 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順1 ▼	
RI/VCC © RI © VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションフェッ	
トを使用する場合は、VOOを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 機器名 ···································	間接機器
1 PLC1	

MEMO ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

+分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機	番設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変 るアドレスを評	H シリーズ 更した場合は、すう 再確認してください。	▼ でに使用されてい
号機 No.	р ок <u>(0)</u>	

■ 接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

通信設定スイッチ2(ポート2用)

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	OFF	インターフェイス選択:RS232C

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.11 設定例 11

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 「(株)日立産機システム ジリーズ 「H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 19200 💌	
データ長 ④ 7 〇 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> ሀ ት</u>	
送信ウェイト 0 🚊 (ms)	
伝送制御手順	
RI/VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを確認できます。デジタル型RS232Cアイソルーションコニッ	
ドを使用する場合は、VCOを選択してださい。	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器 追加
I PLC1 III シリーズ=H シリーズ、号機 No.=0	4

мемо

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機	播設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変 るアドレスをす	Hシリーズ 更した場合は、すでに使用され 再確認してください。	・ いてい
号機 No.	þ	-
	2刀其月15	定
	OK(<u>O</u>) キャンセル	

■ 接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦ 手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

通信設定スイッチ2(ポート2用)

ディップスイッチ	設定	内容	
01	OFF		
02	ON	通信速度:19,200 bps	
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。	
04	ON		
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット	
06	ON	ストップビット:1 ビット	
07	OFF	パリティの種類:偶数	
08	ON	インターフェイス選択:RS422/RS485	

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.12 設定例 12

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更		
通信設定		
通信方式 C RS232C	● RS422/485(2線式)	
通信速度 19200	•	
データ長 💿 7	08	
パリティ 🔿 なし	 ・ 偶数 ○ 奇数 	
ストップビット 💿 1	0 2	
フロー制御 \cdots なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 🛛 🗮 🕼	ec)	
リトライ 2 🚍		
送信ウェイト 🛛 📑 (m	ns)	
伝送制御手順 伝送制御手順1	×	
RI / VCC © RI	C VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)に にするかな遅れできます。デジカル制度	するかVCC(5V電源供給)	
トを使用する場合は、VCCを選択して	(ださい。 初期設定	
機器別設定		
接続可能台数 16台 機器を	<u>转自力n</u>	
No. 機器名 設定		間接機器
1 PLC1	=H シリーズ,号機 No.=0	

MEMO

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変] るアドレスを調	Hシリーズ 更した場合は、すでに使 耳確認してください。	▼ 用されてい
号機 No.	þ	
	*	期設定
	OK(<u>0</u>)	1セル

■ 接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦ 手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

通信設定スイッチ2(ポート2用)

ディップスイッチ	設定	内容	
01	OFF		
02	ON	通信速度:19,200 bps	
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。	
04	ON		
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット	
06	ON	ストップビット:1 ビット	
07	OFF	パリティの種類:偶数	
08	ON	インターフェイス選択:RS422/RS485	

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.13 設定例 13

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 【《株)日立産機システム ジリーズ 【H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 · RS232C · RS422/485(2線式) · RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 〇 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 〇 なし ④ ER(DTR/CTS) 〇 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> ሀኑ</u> ታ	
送信ウェイト 0 🚊 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順2 ▼	
RI/VCC © RI © VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCCGV電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器 追加
1 PLC1 DJーズ=H シリーズ	4

МЕМО	 ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュア
	ルを参照してください。
	 十分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があ
	ります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定 🛛 🗙 🗙
PLC1
シリーズ Hシリーズ シリーズを変更した場合は、すでに使用されてい るアドレスを再確認してください。
号機 No. 🛛 🚊
初期設定
OK(Q) キャンセル

■ 接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定は CPU ユニットのスイッチで設定を行います。通信方式はラダーソフト(LADDER EDI-TOR for Windows) でアドレス WRF037 に C000(H) を入力することで RS232C(伝送制御手順2) に設 定されます。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は 接続機器のマニュアルを参照してください。

◆ モード設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	内容	
SW03	ON	ポート1の伝送速度・10 200 hmg	
SW04	OFF	小一下100伝送速度:19,200 bps	
SW05	ON	ポート1の動作:専用ポート	

MEMO

• その他の伝送速度の設定は以下のとおりです。

SW03	SW04	SW05	伝送速度
ON	ON	ON	4,800 bps
OFF	ON	ON	9,600 bps
OFF	OFF	ON	38,400 bps
3.14 設定例 14

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)日立産根	嬰システム シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード	1 <u>変更</u>	
通信設定		
通信方式	○ RS232C ○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)	
通信速度	19200 💌	
データ長	© 7 © 8	
パリティ	○ なし ● 偶数	
ストップビット		
フロー制御	○ なし ● ER(DTR/CTS) ○ XON/XOFF	
タイムアウト	3 🔆 (sec)	
リトライ	2 🗄	
送信ウェイト	0 🔆 (ms)	
伝送制御手順	伝送制御手順2 ▼	
RI / VCC	C RI C VOC	
RS232Cの場合、9番 にするかを選択できま トを使用する場合は、	ピンをRI(入力)にするかVOC(5V電源供給) す。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ 、VOOを選択してください。 初期服役定	
機器別設定		
接続可能台数 16	台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名	設定	間接機器 追加
J PLC1	ジリーズ=H シリーズ,号機 No.=0	

МЕМО

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定 🛛 🗙
PLC1
シリーズ Hシリーズ シリーズ シリーズを変更した場合は、すでに使用されてい るアドレスを再確認してください。
号機 No. 🛛 🚊
初期設定
OK(<u>O</u>) キャンセル

■ 接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定は CPU ユニットのスイッチで設定を行います。通信方式はラダーソフト(LADDER EDI-TOR for Windows)でアドレス WRF037 に E100(H)^{*1} を入力することで RS422/RS485(伝送制御手順 2)に設定されます。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

*1 終端抵抗を有効にする場合には、F100(H)を入力してください。また、E100(またはF100)の 下位2桁には、表示器側で設定した号機 No. を入力してください。

•	モード設定スイッチ	F
	ディップフィッチ	=兀 i

ディップスイッチ	設定	内容	
SW03	ON	ポート1の存送連度・10 200 hmg	
SW04	OFF	小一下Iの広达迷度:19,200 bps	
SW05	ON	ポート1の動作:専用ポート	

MEMO

• その他の伝送速度の設定は以下のとおりです。

SW03	SW04	SW05	伝送速度
ON	ON	ON	4,800 bps
OFF	ON	ON	9,600 bps
OFF	OFF	ON	38,400 bps

3.15 設定例 15

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム ジリーズ (H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C © RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式	0
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし O ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 🚍 (sec)	
<u> ሀ ኮ চ ብ 🛛 🔁</u>	
送信ウェイト 🛛 🚞 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順2 ▼	
RI/VCC © RI © VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVOCのV電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VOCを選択してください。 *71期間 の	定
·····································	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器 追加
3 1 PLC1 シリーズ=H シリーズ、号機 No.=0	

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定 🛛 🗙
PLC1
シリーズ Hシリーズ ▼ シリーズを変更した場合は、すでに使用されてい るアドレスを再確認してください。
号機 No. D 🔅
初期設定
OK(Q) キャンセル

■ 接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定は CPU ユニットのスイッチで設定を行います。通信方式はラダーソフト(LADDER EDI-TOR for Windows)でアドレス WRF037 に E200(H)^{*1} を入力することで RS422/RS485(伝送制御手順 2)に設定されます。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

*1 終端抵抗を有効にする場合には、F200(H)を入力してください。また、E200(または F200)の 下位 2 桁には、表示器側で設定した号機 No. を入力してください。

♦モー	ド設定スイ	ッチ
-----	-------	----

ディップスイッチ	設定	内容
SW03	ON	ポート1の伝送速度・10 200 hpg
SW04	OFF	小 下107公区座及 · 19,200 0ps
SW05	ON	ポート1の動作:専用ポート

MEMO

• その他の伝送速度の設定は以下のとおりです。

SW03	SW04	SW05	伝送速度
ON	ON	ON	4,800 bps
OFF	ON	ON	9,600 bps
OFF	OFF	ON	38,400 bps

3.16 設定例 16

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 【(株)日立産機システム ジリーズ H シリーズ SIO	ж−⊦ <mark>сом1</mark>
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 💼 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 🛛 🛨 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順2 ▼	
RI / VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCCGV電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定	
·····································	
接続可能台数 16台 機器を追加	
No. 機器名	間接機器 追加
■ I PLC1 ■ I PLC1	

МЕМО

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機	番設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変 るアドレスを評	H シリーズ 更した場合は、すう 再確認してください。	▼ でに使用されてい
号機 No.	р ок <u>(0)</u>	

■ 接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	OFF	常時 OFF

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.17 設定例 17

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム シリーズ H シリーズ SIO	ж−⊦ <mark>сом1</mark>
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C 〇 RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 👻	
データ長 ④ 7	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 🖸 1 🔿 2	
フロー制御 〇 なし ④ ER(DTR/CTS) 〇 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🚍	
送信ウェイト 🛛 🚊 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順2 ▼	
RI/VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを避視できます。デジタル制PS222Cアイバルージャンフェッ	
トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
1 PLC1 1 PLC1	4

MEMO

・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

+分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機	番 設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変] るアドレスを再	田シリーズ 更した場合は、す 耳確認してください。	▼ でに使用されてい
号機 No.	p	E.
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦ 手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

通信設定スイッチ2(ポート2用)

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	OFF	インターフェイス選択:RS232C

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.18 設定例 18

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム シリーズ H	シリーズ SIO ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 O RS232C O RS422/485位約	記() ③ RS422/485(4線式)
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数	○ 奇数
ストップビット 💿 1 🔿 2	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF
タイムアウト 3 芸 (sec)	
ሃኑ ን ና 2 🗄	
送信ウェイト 🛛 🕂 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順2 👤	
RI/VCC © RI Ĉ VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVOC(5V電源 にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーション トを使用する場合は、VOCを選択してください。	供給) イユニッ
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
👔 1 PLC1 🔝 シリーズ=H シリーズ,号機 No	=0

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
 - +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変 るアドレスをす	H シリーズ 更した場合は、すでに使用されて 再確認してください。	・
号機 No.	p	÷
	初期設定	
	OK(Q) キャンセル	

■ 接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦ 手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

通信設定スイッチ2(ポート2用)

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	ON	インターフェイス選択:RS422/RS485

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.19 設定例 19

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 「(株)日立産機システム ジリーズ H シリーズ SIO	ポート <mark> COM1</mark>
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	85(4線式)
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップピット	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> ሀトライ 2</u>	
送信ウェイト 🛛 🚊 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順2 ▼	
RI/VCC © RI C VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを避視できます。デジタル製RS232Cマイバルージョンフェッ	
トを使用する場合は、VCOを選択してださい。	初期設定
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
▼ 1 PLC1	

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを調	田 シリーズ 更した場合は、すでに使用 再確認してください。	▼
号機 No.	þ	÷
	20月	服定
	OK(<u>0</u>)	214

■ 接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦ 手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

通信設定スイッチ2(ポート2用)

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	ON	インターフェイス選択:RS422/RS485

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.20 設定例 20

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム ジリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C 〇 RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 🔽	
データ長	
パリティ 〇 なし ④ 偶数 〇 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 O なし ④ ER(DTR/CTS) O XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
UF54 2 🗮	
送信ウェイト 🛛 🚍 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順1 ▼	
RI/VCC © RI © VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするがを選択できます。テンダル製Roz320アインレーションユニットを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
	間接機器
	近期
	*

MEMO

・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

+分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ Hシリ シリーズを変更した場 るアドレスを再確認し	ーズ ・ ズ 合は、すでに使用されてい てください。
号機 No. 🛛	÷
	初期設定
OK(Q)	キャンセル

■ 接続機器の設定(CPU ユニット上のポート)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

♦手順

接続機器の正面カバー内にあるディップスイッチでラダーソフトと通信可能な状態にします。
 下表のように設定します。

1		
ディップスイッチ	設定	内容
SW01	ON	
SW02	OFF	伝送速度:19,200 bps
SW03	OFF	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
SW04	OFF	

2. I/O No.WRF01A に 0000(H) をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリ に設定を書込みます。

• WRF01A

限定ビット	設定	内容
15	0	伝送制御手順1

• R7F6

限定ビット	設定	内容
—	1	FLASH メモリ書込み

3.21 設定例 21

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 【(株)日立産機システム シリーズ 【H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) © RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし ③ ER(DTR/CTS) 〇 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 0 🗮 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順1 ▼	
RI/VCC CRI OVCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC6V電源供給) にするかを確認できます。デジタル製RS232Cアイソレーションフェッ	
ドを使用する場合は、VOOを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
I PLC1 III シリーズ=H シリーズ,号機 No.=0	4

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変] るアドレスを調	田シリーズ 更した場合は、すでに 「確認してください。	▼ 使用されてい
号機 No.	þ	
		初期設定
	OK(<u>0</u>) ≯	ャンセル

■ 接続機器の設定(CPU ユニット上のポート)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

♦ 手順

1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。

• WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1*1	設定変更要求
14	0	伝送制御手順1
13	1	局番の有 / 無 : 有
$11 \sim 8$	0010(H)	伝送速度: 19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
$7 \sim 0$	0	局番 ^{*2}

*1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

*2 局番は BCD2 桁で設定します。ビット位置 7~4 が 10 の位、ビット位置 3~0 が 1 の位に あたります。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
_	1	FLASH メモリ書込み

3.22 設定例 22

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 「(株)日立産機システム シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 🔿 RS232C 💿 RS422/485位線式) 🔿 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし O ER(DTR/CTS) O XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
<u> ሀኑ</u> ታብ 2 🚍	
送信ウェイト 🛛 🗮 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順1 ▼	
RI/VCC CRI OVCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCCのV電源供給) にするかを確認できます。デジタル製BS282Cアイソレージョンフェッ	
ドを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
I PLC1 III シリーズ=H シリーズ,号機 No.=0	

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- ・ 十分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機:	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	旧シリーズ 回した場合は、すで 確認してください。	▼
号機 No.	p	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(CPU ユニット上のポート)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

♦手順

1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。

• WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1*1	設定変更要求
14	0	伝送制御手順1
13	1	局番の有/無:有
$11 \sim 8$	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度は、接続機器のマニュアルを参照してください。
$7 \sim 0$	0	局番*2

*1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

*2 局番は BCD2 桁で設定します。ビット位置 7~4 が 10 の位、ビット位置 3~0 が 1 の位に あたります。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
—	1	FLASHメモリ書込み

3.23 設定例 23

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム ジリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ ○なし ○ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 O なし ④ ER(DTR/CTS) 〇 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🚊 (sec)	
リトライ 2 🗄	
送信ウェイト 🛛 📩 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順1 ▼	
RI / VCC RI VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVOC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジカル約BS232Cマイソルーションフェッ	
トを使用する場合は、VCCを選択してださい。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器 追加
1 PLC1 III シリーズ III シリーズ	

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ Hシリーズ シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。]
·号機 No. 🛛 🚊	3
初期設定	
OK(Q) キャンセル	

■ 接続機器の設定(EH-OB232)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

♦ 手順

1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。

• WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1*1	設定変更要求
14	0	伝送制御手順1
13	0	局番の有 / 無: 無
$11 \sim 8$	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。

*1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
—	1	FLASH メモリ書込み

3.24 設定例 24

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 「〈株〉日立産機システム ジリーズ 「H シリーズ SIO	ポート СОМ1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし O ER(DTR/CTS) O XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
ሀኑ5ብ 🛛 🚍	
送信ウェイト 0 🗮 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順1 👤	
RI/VCC CRI OVCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするかを運動できょう。アラダル製や32320パイシレーションエータ トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期股定	
接続可能台数 16台 機器を追加	
No 継程名 翻空	間接機器
1 PLC1 Fill Fill Fill Fill Fill Fill Fill	追加

мемо

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変 るアドレスをす 号相M No	H シリーズ 更した場合は、すでに使り 再確認してください。	▼ またれてい
-5 1 <u>7</u> 2 NO.	ア 初 OK(②) キャン	 期設定 セル

■ 接続機器の設定(EH-OB485)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

♦ 手順

1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。

• WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1*1	設定変更要求
14	0	伝送制御手順1
13	1	局番の有 / 無:有
$11 \sim 8$	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
$7\sim 0$	0	局番*2

*1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

*2 局番は BCD2 桁で設定します。ビット位置 7~4 が 10 の位、ビット位置 3~0 が 1 の位に あたります。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
—	1	FLASH メモリ書込み

3.25 設定例 25

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 O RS232C O RS422/485(2線式) O RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔍 なし 💿 偶数 🔍 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 O なし ④ ER(DTR/CTS) 〇 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 🛛 🚊 (ms)	
伝送制御手順	
RI/VCC © RI OVCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC6V電源供給) にするかを選択できます。デジタル型RS232Cアイソルージョンコニッ	
ドを使用する場合は、VCOを選択してください。]
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器 追加
I PLC1 III シリーズ=H シリーズ,号機 No.=0	4

MEMO

 ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

+分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機:	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	旧シリーズ 回した場合は、すで 確認してください。	▼
号機 No.	p	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(EH-OB485)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

♦ 手順

1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。

• WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1*1	設定変更要求
14	0	伝送制御手順1
13	1	局番の有/無:有
11 ~ 8	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
$7\sim 0$	0	局番*2

*1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

*2 局番は BCD2 桁で設定します。ビット位置 7~4 が 10 の位、ビット位置 3~0 が 1 の位に あたります。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
—	1	FLASH メモリ書込み

3.26 設定例 26

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)日立産	機システム シリーズ H シリーズ SIO	ポート СОМ1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	◎ RS232C ◎ RS422/485(2線式) ◎ RS422/485(4線式)	
通信速度	19200	
データ長	© 7 C 8	
パリティ	○ なし ● 偶数 ○ 奇数	
ストップビット		
フロー制御	○なし ● ER(DTR/CTS) ○ XON/XOFF	
タイムアウト	3 🔆 (sec)	
リトライ	2	
送信ウェイト	0 🔆 (ms)	
伝送制御手順	伝送制御手順2 ▼	
RI / VCC	© RI O VCC	
RS232Cの場合、9: にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)にするかVCC6V電源供給) ます。デジタル製RS232Cアイソレーションフニッ	
下を使用する場合は	、VOCを選択してください。 初期設定	
機器別設定		
接続可能台数 1	6台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名	設定	間接機器 追加
🔏 1 PLC1	▶ シリーズ=H シリーズ	+
×*/		光空なななるので

• 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

+分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ 日シリーズ シリーズを変更した場合は、すでに1 るアドレスを再確認してください。	▼ 使用されてい
号機 No. 🛛	÷
	初期設定
OK(<u>0</u>) **	ャンセル

■ 接続機器の設定(CPU ユニット上のポート)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

♦ 手順

 接続機器の正面カバー内にあるディップスイッチでラダーソフトと通信可能な状態にします。 下表のように設定します。

121 01 11	,	
ディップスイッチ	設定	内容
SW01	ON	
SW02	OFF	通信設定: 19,200 bps
SW03	OFF	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
SW04	OFF	

- 2. I/O No.WRF01A に 8000(H) をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリ に設定を書込みます。
- WRF01A

限定ビット	設定	内容
15	1	伝送制御手順2

• R7F6

限定ビット	設定	内容
_	1	FLASH メモリ書込み

3.27 設定例 27

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 【(株)日立産機システム ジリーズ 【H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 O RS232C O RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 🔘 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット ・ 1 ・ 2	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 0 🚊 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順2 ▼	
RI/VCC © RI OVCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル制約S230Cアイバルージョンフェッ	
トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定	
·····································	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
I PLC1 IF シリーズ=H シリーズ,号機 No.=0	

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機	器設定 ×
PLC1	
シリーズ シリーズを変 るアドレスをす	Hシリーズ 更した場合は、すでに使用されてい 再確認してください。
号機 No.	p 🗄
	初期設定
	OK(() キャンセル

■ 接続機器の設定(CPU ユニット上のポート)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

♦ 手順

1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。

• WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1*1	設定変更要求
14	1	伝送制御手順2
13	1	局番の有/無:有
$11 \sim 8$	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
$7\sim 0$	0	局番*2

*1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

- *2 局番は BCD2 桁で設定します。ビット位置 7~4 が 10 の位、ビット位置 3~0 が 1 の位に あたります。
- R7F6

限定ビット	設定	内容
—	1	FLASH メモリ書込み

3.28 設定例 28

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 【(株)日立産機システム ジリーズ 【H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ C なし O 偶数 C 奇数	
ストップビット 💿 1 🔿 2	
フロー制御 C なし © ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 0 💼 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順2 ▼	
RI/VCC © RI C VOC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVOC(5V電源供給) にするかを確認できます。デジタル製RS232Cアイソルージョンフェッ	
トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定	
·····································	
接続可能台数 16台 機器を追加	
No. 機器名 設定	間接機器 追加
■ 1 PLC1 III シリーズ:号機 No.=0	
	<u> </u>

мемо

・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

+分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機	器設定 ×
PLC1	
シリーズ シリーズを変 るアドレスをす	日 シリーズ 更した場合は、すでに使用されてい 再確認してください。
号機 No.	p 😑
	初期設定
	OK((2) キャンセル

■ 接続機器の設定(CPU ユニット上のポート)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

♦ 手順

1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。

• WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1*1	設定変更要求
14	1	伝送制御手順2
13	1	局番の有/無:有
$11 \sim 8$	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
$7 \sim 0$	0	局番 ^{*2}

*1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

*2 局番は BCD2 桁で設定します。ビット位置 7~4 が 10 の位、ビット位置 3~0 が 1 の位に あたります。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
—	1	FLASHメモリ書込み

3.29 設定例 29

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 【(株)日立産機システム ジリーズ 【H シリーズ SIO	ж−⊦ <mark>сом1</mark>
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C 〇 RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 🔽	
データ長 💽 7 🔘 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 O なし • ER(DTR/CTS) O XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🚍	
送信ウェイト 🛛 🚊 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順2 ▼	
RI / VCC RI VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCCGV電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してくだざい。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 機器名 ···································	間接機器
I PLC1 IIII IIIII IIIII IIIIII IIIIII IIIIIII IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	4

MEMO

・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

+分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

<i></i> 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ Hシリーズ シリーズを変更した場合は、すでに1 るアドレスを再確認してください。	▼
号機 No. 🏼 🗍	÷
	初期設定
OK(()) **	rンセル

■ 接続機器の設定(EH-OB232)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

♦ 手順

1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。

• WRF03D

限定ビット	設定	内容	
15	1*1	設定変更要求	
14	1	伝送制御手順2	
13	0	局番の有 / 無: 無	
$11 \sim 8$	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。	

*1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
—	1	FLASH メモリ書込み

3.30 設定例 30

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
·····································	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム ジリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 O RS232C O RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式	\$
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 O なし ④ ER(DTR/CTS) 〇 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 🛛 🚊 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順2 ▼	
RI/VCC ORI OVCC	
RS2320の場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCO(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCOを選択してください。 初期設	定
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機奋 追加
3 1 PLC1 シリーズ=H シリーズ,号機 No.=0	

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変 るアドレスを評	田シリーズ 更した場合は、すて 再確認してください。	▼に使用されてい
号機 No.	D	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(EH-OB485)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

♦ 手順

1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。

• WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1*1	設定変更要求
14	1	伝送制御手順2
13	1	局番の有/無:有
$11 \sim 8$	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
$7 \sim 0$	0	局番 ^{*2}

*1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

- *2 局番は BCD2 桁で設定します。ビット位置 7~4 が 10 の位、ビット位置 3~0 が 1 の位に あたります。
- R7F6

限定ビット	設定	内容
—	1	FLASH メモリ書込み

3.31 設定例 31

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム ジリーズ (H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C © RS422/485位線式) C RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし O ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 🚍 (sec)	
<u> ሀኑ</u> ታ	
送信ウェイト 🛛 🚊 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順2 ▼	
RI/VCC © RI © VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCCのV電源供給) にするかを確認できます。デジタル製RS232Cアイバルージョンフェッ	
ドを使用する場合は、VCOを選択してください。	
·····································	-
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器 追加
▲ 1 PLC1 III シリーズ=H シリーズ、号機 No.=0	
	<u> </u>

МЕМО

・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

+分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機:	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	旧シリーズ 回した場合は、すで 確認してください。	▼
号機 No.	p	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(EH-OB485)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

♦ 手順

1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。

• WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1*1	設定変更要求
14	1	伝送制御手順2
13	1	局番の有/無:有
11 ~ 8	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
$7\sim 0$	0	局番*2

*1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

*2 局番は BCD2 桁で設定します。ビット位置 7~4 が 10 の位、ビット位置 3~0 が 1 の位に あたります。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
_	1	FLASHメモリ書込み
3.32 設定例 32

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1			
概要	接続機器変更		
メーカー 【休わ日立産機システム シリーズ [H シリーズ SIO	_ ポート COM1		
文字列データモード 1 変更			
通信設定			
通信方式 ④ RS232C 〇 RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)			
通信速度 19200 🔽			
データ長 💽 7 🔘 8			
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数			
ストップビット 💿 1 💿 2			
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF			
タイムアウト 3 🗮 (sec)			
UF54 2 🚍			
送信ウェイト 0 🚊 (ms)			
伝送制御手順 伝送制御手順1 ▼			
RI/VCC © RI O VCC			
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)			
にするがを通信できょう。アンダル製品2020アイシレージョンユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定			
機器別設定			
接続可能台数 16台 機器を追加			
Ma 修理々 副空	間接機器		
	追加		

MEMO ・ 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

+分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 📻 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変] るアドレスを利	Web コントローラ 更した場合は、すて 耳確認してください。	シリーズ ▼ 『に使用されてい
号機 No.	0	Ē
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(Web コントローラ)

通信設定は接続機器にウェブブラウザでアクセスして行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照 してください。

♦ 手順

詳細は Web コントローラのマニュアルを参照してください。

 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定することで、イーサネットポートの仮の IP アドレスが 192.168.0.1 に設定されます。
 <動作モード設定スイッチ>

・ロータリスイッチを「2」に設定

- パソコンの Ethernet ポートと Web コントローラの Ethernet ポートを LAN ケーブルで接続します。 (HUB 経由またはクロスケーブルで直接接続します。)
- ウェブブラウザのアドレス入力ボックスに「http://192.168.0.1/mwconfig.cgi」と入力し、接続機器 ヘアクセスします。 アクセスするためには、パソコンの IP アドレスの上位 3 バイトを 192.168.0. に設定する必要があ ります。(192.168.0.10 など)
- 4. 表示された System Configuration Login 画面でログインします。
- 表示された画面の [System Configuration] から [Serial Protocol] [Passive HIProtocol] を選択 し、通信設定を行います。設定後、[SET] をクリックして設定値を確定します。 Serial-Passive HIProtocol

設定項目	設定値
Interface Type	RS232C
Transmission Control Procedure	Procedure1 1:1 ^{*1}
Transmission Speed	19.2 kbps
Station No.	0

- *1 伝送制御手順2を使用する場合は[Procedure2 1:1]を選択します。
- 6. 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定し、電源を再投入します。<
 <動作モード設定スイッチ>
 - ・ロータリスイッチを「0」に設定

3.33 設定例 33

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	<u>接続機器変更</u>
メーカー (株)日立産機システム	シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ⓒ RS232C 〇	RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)
通信速度 19200	•
データ長 💿 7 🔘	8
パリティ Cなし ©	偶数 〇 奇数
ストップビット 💿 1 📿	2
フロー制御 🛛 なし 💽	ER(DTR/CTS) O XON/XOFF
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 🛛 🗮 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順1	
RI/VCC © RI C	VCC
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にする にするかを選択できます。デジタル製RS233	かVCC伝V電源供給) 2Cアイソレーションフェッ
ドを使用する場合は、VCCを選択してくださ	初期設定
機器別設定	
接続可能台数 16台 機器を追	
No. 機器名 設定	間接機器
👔 1 PLC1 🛄 シリーズ=EH	▼シリーズ 🙀

• 送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

+分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 📻 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定 🛛 🗙
PLC1
シリーズ EHV シリーズ シリーズを変更した場合は、すでに使用されてい るアドレスを再確認してください。
号機 No. 🛛 🚊
初期設定
OK(<u>O</u>) キャンセル

■ 接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定はプログラミングソフトウェア(Control Editor)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

- ♦ 手順
 - 1. プログラミングソフトウェアを起動し、プロジェクトを作成します。オフラインモードでプロ ジェクトが表示されます。
 - 2. [ツール] メニューから [エディタ通信設定] を選択し、通信設定ダイアログボックスを表示しま す。
 - 3. 通信設定を接続機器に転送するための通信方法を「USB」、「シリアル」から選択し、[設定]をク リックします。
 - 4. USB ケーブルまたはシリアルケーブル(日立産機システム製)でパソコンと接続機器を接続しま す。
 - 5. [オンライン] メニューから [モード切替] [オンライン] を選択し、オンラインモードへ移行 します。
 - 6. [ツール] メニューから [CPU 設定] [シリアル通信設定] を選択し、通信設定を行います。
 - CPU 通信設定(シリアル通信設定)

設定項目	設定
シリアル通信設定	専用
ポート種別	RS232C
通信速度	19.2 kbps
通信手順	手順1(1:1) ^{*1}

*1 伝送制御手順2で通信する場合は[手順2(1:1)]を選択します。

7. 接続機器の電源を再投入します。

3.34 設定例 34

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1			
概要	接続機器変更		
メーカー (株)日立産機システム シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1		
文字列データモード 1 変更			
通信設定			
通信方式			
通信速度 19200 🔽			
データ長 ④ 7			
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数			
ストップビット 💿 1 💿 2			
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF			
タイムアウト 3 🗮 (sec)			
<u> </u>			
送信ウェイト 0 🚍 (ms)			
伝送制御手順			
RI/VCC CRI CVCC			
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(6V電源供給) にするかを選択できます。デジタル型RS232Cアイソルーションコニッ			
ドを使用する場合は、VCOを選択してただい。			
機器別設定			
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>			
No. 機器名 設定	間接機器 追加		
I PLC1 III シリーズ=EHV シリーズ,号機 No.=0	4		

MEMO

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 📻 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定 🛛 🗙
PLC1
シリーズ EHV シリーズ シリーズ ▼ シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。
号機 No. 🛛 🚊
初期設定
OK(Q) キャンセル

■ 接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定はプログラミングソフトウェア(Control Editor)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

- ♦手順
 - 1. プログラミングソフトウェアを起動し、プロジェクトを作成します。オフラインモードでプロ ジェクトが表示されます。
 - 2. [ツール] メニューから [エディタ通信設定] を選択し、通信設定ダイアログボックスを表示しま す。
 - 3. 通信設定を接続機器に転送するための通信方法を「USB」、「シリアル」から選択し、[設定]をク リックします。
 - 4. USB ケーブルまたはシリアルケーブル(日立産機システム製)でパソコンと接続機器を接続しま す。
 - 5. [オンライン] メニューから [モード切替] [オンライン] を選択し、オンラインモードへ移行 します。
 - 6. [ツール] メニューから [CPU 設定] [シリアル通信設定] を選択し、通信設定を行います。

設定項目	設定
シリアル通信設定	専用
ポート種別	RS422/RS485
通信速度	19.2 kbps
通信手順	手順1 (1:n) ^{*1}
局番	表示器で設定した局番を入力してください。 ^{*2}

• CPU 通信設定(シリアル通信設定)

*1 伝送制御手順2で通信する場合は[手順2(1:n)]を選択します。

*2 局番を「なし」に設定すると通信できません。

7. 接続機器の電源を再投入します。

3.35 設定例 35

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー ((株)日立/	奎機システム シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	○ RS232C ● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通信速度	19200 💌	
データ長	© 7 © 8	
パリティ	○ なし ● 偶数	
ストップビット		
フロー制御	○なし ● ER(DTR/CTS) ○ XON/XOFF	
タイムアウト	3 :: (sec)	
<u> </u>	2 🗄	
送信ウェイト	0 🔆 (ms)	
伝送制御手順	伝送制御手順1 ▼	
RI / VCC	C RI C VCC	
RS232Cの場合、 にするかを選択で トを使用する場合	9番ピンをRI(入力)にするかVCO(5V電源供給) きます。デジタル製RS2320アイソレーションユニッ ば、VCOを選択してください。 初期設定	1
機器別設定		-
接続可能台数	16台 機器を追加	
No. 機器名	設定	間接機器 追加
3 PLC1	■ [シリーズ=EHV シリーズ,号機 No.=0	*

MEMO

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 📷 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、「接続機器設定」の「機器別設定」から「機器を追加」をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定 🛛 🗙
PLC1
シリーズ EHV シリーズ シリーズを変更した場合は、すでに使用されてい るアドレスを再確認してください。
号機 No. D
初期設定
OK(() キャンセル

■ 接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定はプログラミングソフトウェア(Control Editor)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

- ♦手順
 - 1. プログラミングソフトウェアを起動し、プロジェクトを作成します。オフラインモードでプロ ジェクトが表示されます。
 - 2. [ツール] メニューから [エディタ通信設定] を選択し、通信設定ダイアログボックスを表示しま す。
 - 3. 通信設定を接続機器に転送するための通信方法を「USB」、「シリアル」から選択し、[設定]をク リックします。
 - 4. USB ケーブルまたはシリアルケーブル(日立産機システム製)でパソコンと接続機器を接続しま す。
 - 5. [オンライン] メニューから [モード切替] [オンライン] を選択し、オンラインモードへ移行 します。
 - 6. [ツール] メニューから [CPU 設定] [シリアル通信設定] を選択し、通信設定を行います。

• CPU 通信設定(シリアル通信設定)		
	設定項目	設定
	シリアル通信設定	専用
	ポート種別	RS422/RS485
	通信速度	19.2 kbps
	通信手順	手順1 (1:n) ^{*1}
	局番	表示器で設定した局番を入力してください。*2

*1 伝送制御手順2で通信する場合は[手順2(1:n)]を選択します。

*2 局番を「なし」に設定すると通信できません。

7. 接続機器の電源を再投入します。

3.36 設定例 36

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム ジリーズ H シリーズ SIO	ポート СОМ1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🛇 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし @ ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 💼 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 0 \Xi (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順1 ▼	
RI / VCC C RI C VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを避視できます。デジタル型RS232Cでイソルーションコニッ	
トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定	1
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	問注絕
No. 機器名 設定	追加
▲ 1 PLC1	*

MEMO ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

+分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機:	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	EHV シリーズ Eした場合は、すで 確認してください。	▼
号機 No.	p	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(Control Editor)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

		- / 4/
ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	OFF	常時 OFF

通信設定スイッチ1(ポート1用)

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.37 設定例 37

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム ジリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 · RS232C · RS422/485(2線式) · RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 🔘 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 💿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🚍 (sec)	
UF24 2 🗮	
送信ウェイト 🛛 🚍 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順1 ▼	
RI / VCC © RI © VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするなを選択できます。まざかい例FS222Cアスリレージョン・コニッ	
にするがを運転できょう。フラグル表に2020とアイラレーションエータ トを使用する場合は、VCOを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 推発之	間接機器
1 PIC1	
	*

MEMO ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。

+分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機:	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	EHV シリーズ Eした場合は、すで 確認してください。	▼
号機 No.	p	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(Control Editor)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	OFF	インターフェイス選択:RS232C

• 通信設定スイッチ2(ポート2用)

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.38 設定例 38

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム ジリーズ (H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) @ RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップピット	
フロー制御 〇 なし ④ ER(DTR/CTS) 〇 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
UF54 2 🚍	
送信ウェイト 0 🚊 (ms)	
伝送制御手順	
RI/VCC CRI CVCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを避ねできます。デジカル制PS222Cアイバルション・コニッ	
にするがを選択してより、アンドンスになって、アンドンテレーションエータートを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
■ 1 PLC1 ■ 「「」 ジリーズ=EHV ジリーズ、号機 No.=0	4
	

MEMO

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機	番設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変 るアドレスを育	EHV シリーズ 更した場合は、すて 再確認してください。	▼に使用されてい
号機 No.	p	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(Control Editor)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦ 手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	ON	インターフェイス選択:RS422/RS485

通信設定スイッチ2(ポート2用)

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.39 設定例 39

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)日立産機シス	テム シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1	<u>変更</u>	
通信設定		
通信方式 🔿 F	RS232C ④ RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 192	00	
データ長 💿 7	08	
パリティ O た	こし 💿 偶数 💿 奇数	
ストップビット 💿 1	© 2	
フロー制御 〇 カ	al 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3	(sec)	
リトライ 2		
送信ウェイト 0	(ms)	
伝送制御手順 伝送	送制御手順1 ▼	
RI / VCC 📀 F	RE C VCC	
RS232Cの場合、9番ピン にするかを選択できます。 トを使用する場合は、VO	をRI(入力)にするかVOC(5V電源供給) デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ Cを選択してください。	
機器別設定		
接続可能台数 16台	機器を追加	
No. 機器名	設定	間接機器
🔀 1 PLC1	↓ ジリーズ=EHV シリーズ,号機 No.=0	4

мемо

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機	番設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変 るアドレスを育	EHV シリーズ 更した場合は、すて 再確認してください。	▼に使用されてい
号機 No.	p	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(Control Editor)で行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦ 手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	ON	インターフェイス選択:RS422/RS485

通信設定スイッチ2(ポート2用)

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.40 設定例 40

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (休)日立産機システム シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS2320 ◎ RS422/485(2線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 〇 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
リトライ 🛛 🚍	
送信ウェイト 🛛 🗮 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順1 ▼	
RI/VCC IRI OVCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製BS222Cアイリルーションコニッ	
トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定	
·····································	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
■ 1 PLC1 ■ シリーズ=Web コントローラシリーズ	

MEMO

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 📻 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器	審設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	Web コントローラシリーズ した場合は、すでに使用され 確認してください。	・ ,てい
号機 No.	<u>þ</u>	$\frac{\cdot}{\cdot}$
	20月月日日日	ت
	OK(<u>O</u>) キャンセル	

■ 接続機器の設定(Web コントローラ)

通信設定は接続機器にウェブブラウザでアクセスして行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照 してください。

♦手順

詳細は Web コントローラのマニュアルを参照してください。

 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定することで、イーサネットポートの仮の IP アドレスが 192.168.0.1 に設定されます。
 <動作モード設定スイッチ>

・ディップスイッチ4のみONに設定

- パソコンの Ethernet ポートと Web コントローラの Ethernet ポートを LAN ケーブルで接続します。 (HUB 経由またはクロスケーブルで直接接続します。)
- ウェブブラウザのアドレス入力ボックスに「http://192.168.0.1/mwconfig.cgi」と入力し、接続機器 ヘアクセスします。 アクセスするためには、パソコンの IP アドレスの上位 3 バイトを 192.168.0. に設定する必要があ ります。(192.168.0.10 など)
- 4. 表示された System Configuration Login 画面でログインします。
- 表示された画面の [System Configuration] から [Serial Protocol] [Passive HIProtocol] を選択 し、通信設定を行います。設定後、[SET] をクリックして設定値を確定します。 Serial-Passive HIProtocol

設定項目	設定値
Interface Type	RS232C
Transmission Control Procedure	Procedure1 1:1 ^{*1}
Transmission Speed	19.2 kbps
Station No.	0

- *1 伝送制御手順2を使用する場合は[Procedure2 1:1]を選択します。
- 6. 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定し、電源を再投入します。
 <動作モード設定スイッチ>
 - ・ディップスイッチをすべて OFF に設定

3.41 設定例 41

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

概要 接続機器変更 メーカー (株)日立産機システム シリーズ Hシリーズ SIO ポート COM1 文字列データモード 1 変更
メーカー (株)日立産機システム シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1 文字列データモード 1 変更 通信設定
文字列データモード 1 <u>変更</u> 通信設定
通信方式 () RS232C () RS422/485(2線式) (• RS422/485(4線式)
通信速度 19200 🗨
データ長 💿 7 💿 8
/ヘリティ 〇 なし ④ 偶数 〇 奇数
ストップビット
フロー制御 O なし ④ ER(DTR/CTS) O XON/XOFF
タイムアウト 3 🗮 (sec)
<u> </u>
送信ウェイト 0 🚍 (ms)
伝送制御手順
RI/VCC © RI O VCC
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ
トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定
機器別設定
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>
3 PLC1 取りレーズ=Web コントローラシリーズ、号機 No.=0
・ 送信ウェイトの設定値け接続機器によって異たります 詳細け接続機器のマニュア

- ルを参照してください。 ・ 十分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があ
 - ります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 📻 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ Web コントローラシリーズ シリーズを変更した場合は、すでに使用されて るアドレスを再確認してください。	. ເດ
号機 No. 0 :	
初期設定	
OK(()) キャンセル	

■ 接続機器の設定(Web コントローラ)

通信設定は接続機器にウェブブラウザでアクセスして行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照 してください。

♦手順

詳細は Web コントローラのマニュアルを参照してください。

- 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定することで、イーサネットポートの仮の IP アドレスが 192.168.0.1 に設定されます。
 <動作モード設定スイッチ>
 ・ディップスイッチ4のみ ON に設定
- 2. パソコンの Ethernet ポートと Web コントローラの Ethernet ポートを LAN ケーブルで接続します。
- (HUB 経由またはクロスケーブルで直接接続します。)
 ウェブブラウザのアドレス入力ボックスに「http://192.168.0.1/mwconfig.cgi」と入力し、接続機器 ヘアクセスします。
 アクセスするためには、パソコンの IP アドレスの上位 3 バイトを 192.168.0. に設定する必要があ ります。(192.168.0.10 など)
- 4. 表示された System Configuration Login 画面でログインします。
- 表示された画面の [System Configuration] から [Serial Protocol] [Passive HIProtocol] を選択 し、通信設定を行います。設定後、[SET] をクリックして設定値を確定します。 Serial-Passive HIProtocol

設定項目	設定値
Interface Type	RS-422/485
Transmission Control Procedure	Procedure1 1:1 ^{*1}
Transmission Speed	19.2 kbps
Station No.	0

- *1 伝送制御手順2を使用する場合は[Procedure2 1:1]を選択します。
- 6. 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定し、電源を再投入します。<
 <動作モード設定スイッチ>
 - ・ディップスイッチをすべて OFF に設定

3.42 設定例 42

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 「(株)日立産機システム シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 19200 🔽	
データ長 💽 7 🔘 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし ④ ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
ሀትライ 2 🗄	
送信ウェイト 0 🚊 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順1 ▼	
RI/VCC CRI OVCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVOCなV電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VOCを選択してください。	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器 追加
👔 1 PLC1 🔛 シリーズ=Web コントローラシリーズ,号機 No.=0	•

MEMO

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 📻 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ Web コントローラシ シリーズを変更した場合は、すで(るアドレスを再確認してください。	<i>山ーズ</i> ▼ こ使用されてい
号機 No. 🏼 🛛	÷
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(Web コントローラ)

通信設定は接続機器にウェブブラウザでアクセスして行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照 してください。

♦手順

詳細は Web コントローラのマニュアルを参照してください。

 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定することで、イーサネットポートの仮の IP アドレスが 192.168.0.1 に設定されます。
 <動作モード設定スイッチ>

・ディップスイッチ4のみONに設定

- パソコンの Ethernet ポートと Web コントローラの Ethernet ポートを LAN ケーブルで接続します。 (HUB 経由またはクロスケーブルで直接接続します。)
- ウェブブラウザのアドレス入力ボックスに「http://192.168.0.1/mwconfig.cgi」と入力し、接続機器 ヘアクセスします。 アクセスするためには、パソコンの IP アドレスの上位 3 バイトを 192.168.0. に設定する必要があ ります。(192.168.0.10 など)
- 4. 表示された System Configuration Login 画面でログインします。
- 表示された画面の [System Configuration] から [Serial Protocol] [Passive HIProtocol] を選択 し、通信設定を行います。設定後、[SET] をクリックして設定値を確定します。 Serial-Passive HIProtocol

設定項目	設定値
Interface Type	RS-422/485
Transmission Control Procedure	Procedure1 1:1 ^{*1}
Transmission Speed	19.2 kbps
Station No.	0

- *1 伝送制御手順2を使用する場合は[Procedure2 1:1]を選択します。
- 6. 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定し、電源を再投入します。
 <動作モード設定スイッチ>
 - ・ディップスイッチをすべて OFF に設定

3.43 設定例 43

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 【(株)日立産機システム ジリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 · RS232C · RS422/485(2線式) · RS422/485(4線式)	
通信速度 38400 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 〇 なし 💿 偶数 🕓 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 O なし ④ ER(DTR/CTS) O XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
<u> ሀኑ5ብ 2 🗮</u>	
送信ウェイト 🛛 🚊 (ms)	
Procedure 伝送制御手順1 💌	
RI/VCC © RI © VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVOC6V軍源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 機器名 設定	間接機器
3 1 PLC1 ↓ シリーズ=EHV シリーズ	

МЕМО

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュア ルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

[シリーズ]から「EHV シリーズ」を選択します。

<i>齡</i> 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変〕 るアドレスを利	EHV シリーズ 更した場合は、す 耳確認してください	▼ でに使用されてい 。
号機 No.	0	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(基本ユニット上の標準シリアル通信ポート)

通信設定はプログラミングソフトウェア(Control Editor)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

♦ 手順

- プログラミングソフトウェアを起動し、プロジェクトを作成します。オフラインモードでプロ ジェクトが表示されます。
- ツリービューの [CPU パラメータ]から [CPU 通信設定]-[シリアル]をダブルクリックします。
 [CPU 通信設定]ダイアログボックスが表示されます。
- 3. 以下の内容を設定し、[設定]をクリックします。

設定項目	設定値	備考
用途	専用	
ポート種別	RS-232C	固定
通信速度	38.4kbps	次の通信速度が選択できます。 4.8kbps、9.6kbps、19.2kbps、38.4kbps、57.6kbps、115.2kbps
通信手順	手順 1(1:1)	
データ長	7bit	固定
パリティ	偶数	固定
スタートビット	1bit	固定
ストップビット	1bit	固定

- 4. オンラインモードに移行し、設定内容を接続機器に転送します。
- 5. 接続機器を再起動します。

3.44 設定例 44

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム	ーー・シリーズ 日 シリーズ SIO	ポート <mark>СОМ1</mark>
文字列データモード 1 変更		
通信設定		
通信方式 🔿 RS232C 🤇	● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通信速度 38400	•	
データ長 💿 7 🤇	08	
パリティ 🔿 なし 🧖	• 偶数	
ストップビット 💽 1 🔇	2	
フロー制御 🛛 なし 🤅	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 🚊 (see	5)	
リトライ 2 🗄		
送信ウェイト 🛛 🗮 (ms))	
Procedure 伝送制御手順1	•	
RI/VCC © RI C	D VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にす。 にするかを選択できます。デジタル製RS23 トを使用する場合は、VCCを選択してくだ	るかVCC(5V電源供給) 320アイソレーションユニッ さい。 初期設定	
機器別設定		
接続可能台数 16台 <u>機器を</u> 〕	<u>自加</u>	
No 機器名 設定		間接機器 追加
👗 1 PLC1 🌆 シリーズ=E	HV シリーズ,号機 No.=0	-

МЕМО

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

[シリーズ]から「EHV シリーズ」を選択します。

🎒 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	EHV シリーズ	▼
るアドレスを	更いにあるは、9 再確認してください。	
号機 No.	0	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(OBV-NES 上の通信ポート)

通信設定はプログラミングソフトウェア(Control Editor)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

- ♦ 手順
 - プログラミングソフトウェアを起動し、プロジェクトを作成します。オフラインモードでプロ ジェクトが表示されます。
 - ツリービューの [CPU パラメータ]から [オプション基板設定]をダブルクリックします。
 [オプション基板設定]ダイアログボックスが表示されます。
 - 3. 以下の内容を設定し、[OK] をクリックします。

設定項目	設定値	備考
用途	専用	
通信速度	38.4kbps	次の通信速度が選択できます。 4.8kbps、9.6kbps、19.2kbps、38.4kbps、57.6kbps、115.2kbps
通信手順	手順 1(1:n)	手順 1(1:n)を選択します。
局番	0	
通信フォーマット	7-E-1	データ長:7bit、パリティ偶数、ストップビット:1bit
アナログ入力フィルタ	1	

- 4. オンラインモードに移行し、設定内容を接続機器に転送します。
- 5. 接続機器を再起動します。

3.45 設定例 45

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)日立産	機システム シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	◎ RS232C ◎ RS422/485(2線式) ◎ RS422/485(4線式)	
通信速度	38400	
データ長	© 7 C 8	
パリティ	○ なし ● 偶数 ● 奇数	
ストップビット	© 1 © 2	
フロー制御	○なし ● ER(DTR/CTS) ● XON/XOFF	
タイムアウト	3	
リトライ	2	
送信ウェイト	0 🔆 (ms)	
Procedure	伝送制御手順2 💌	
RI / VCC	RI ○ VCC	
RS232Cの場合、9 にするかを選択でき トを使用する場合(番ピンをRI(入力)にするかVCC6V電源供給) ます。デジタル製PS232Cアイソレーションユニッ よ、VCCを選択してください。 初期設定	
機器別設定		
接続可能台数	16合 機器を追加	
No 機器名	設定	間接機器
3 PLC1	シリーズ=EHV シリーズ	

MEMO

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

[シリーズ]から「EHV シリーズ」を選択します。

🎒 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変 るアドレスを	EHV シリーズ 更した場合は、す 再確認してください	▼ でに使用されてい 。
号機 No.	0	=
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(基本ユニット上の標準シリアル通信ポート)

通信設定はプログラミングソフトウェア(Control Editor)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

♦ 手順

- プログラミングソフトウェアを起動し、プロジェクトを作成します。オフラインモードでプロ ジェクトが表示されます。
- ツリービューの [CPU パラメータ]から [CPU 通信設定]-[シリアル]をダブルクリックします。
 [CPU 通信設定]ダイアログボックスが表示されます。
- 3. 以下の内容を設定し、[設定]をクリックします。

設定項目	設定値	備考
用途	専用	
ポート種別	RS-232C	固定
通信速度	38.4kbps	次の通信速度が選択できます。 4.8kbps、9.6kbps、19.2kbps、38.4kbps、57.6kbps、115.2kbps
通信手順	手順 2(1:1)	
データ長	7bit	固定
パリティ	偶数	固定
スタートビット	1bit	固定
ストップビット	1bit	固定

- 4. オンラインモードに移行し、設定内容を接続機器に転送します。
- 5. 接続機器を再起動します。

3.46 設定例 46

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム ジリーズ JH シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 38400 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし ④ ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 📑 (sec)	
<u> ሀ</u> トライ 2	
送信ウェイト 🛛 🗮 (ms)	
Procedure 伝送制御手順2 🔽	
RI/VCC ORI OVCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVOC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期服設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 機器名 設定	間接機器 追加
	17) 1

MEMO

- ・送信ウェイトの設定値は接続機器によって異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- +分な送信ウェイトが設定されていない場合、通信エラーが表示される可能性があります。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🖬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

[シリーズ]から「EHV シリーズ」を選択します。

🍧 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変	EHV シリーズ 更した場合は、す	▼
のバトレスを 号機 No.	再確認して√ とさい	,
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

■ 接続機器の設定(OBV-NES 上の通信ポート)

通信設定はプログラミングソフトウェア(Control Editor)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

♦ 手順

- プログラミングソフトウェアを起動し、プロジェクトを作成します。オフラインモードでプロ ジェクトが表示されます。
- ツリービューの [CPU パラメータ]から [オプション基板設定]をダブルクリックします。
 [オプション基板設定]ダイアログボックスが表示されます。
- 3. 以下の内容を設定し、[OK] をクリックします。

設定項目	設定値	備考
用途	専用	
通信速度	38.4kbps	次の通信速度が選択できます。 4.8kbps、9.6kbps、19.2kbps、38.4kbps、57.6kbps、115.2kbps
通信手順	手順 2(1:n)	手順 2(1:n)を選択します。
局番	0	
通信フォーマット	7-E-1	データ長:7bit、パリティ偶数、ストップビット:1bit
アナログ入力フィルタ	1	

- 4. オンラインモードに移行し、設定内容を接続機器に転送します。
- 5. 接続機器を再起動します。

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。 ☞「3 通信設定例」(11 ページ)

4.1 GP-Pro EX での設定項目

■ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 【(株)日立産機システム ジリーズ 【H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C ◎ RS422/485(2線式) ◎ RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 〇 なし ④ ER(DTR/CTS) 〇 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🚊	
送信ウェイト 0 芸 (ms)	
伝送制御手順	
RI / VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVOC(5V電源供給) にするかを確据できます。デジタル製RS232Cアイソルーションフェッ	
ドを使用する場合は、VCOを選択してください。 初期設定	
·····································	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 機器名 ···································	間接機器
I PLC1 III III III III III III	4-

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。

設定項目	設定内容
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。
伝送制御手順	接続機器の伝送制御手順を選びます。
RI/VCC	通信方式でRS232Cを選択した場合に、9番ピンのRI/VCCを切り替えます。 IPCと接続する場合はIPCの切替スイッチでRI/5Vを切り替える必要があります。詳細はIPCのマニュアルを参照してください。

MEMO

• 間接機器については GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「運転中に接続機器を切り替えたい (間接機器指定)」

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。



設定項目	設定内容		
シリーズ	接続機器の種類を選択します。		
号機 No.	接続機器の号機 No. を入力します。		

4.2 オフラインモードでの設定

МЕМО

 オフラインモードへの入り方や操作方法は、保守/トラブル解決ガイドを参照して ください。

参照:保守/トラブル解決ガイド「オフラインモードについて」

オフラインモードは使用する表示器によって1画面に表示できる設定項目数が異なります。詳細はリファレンスマニュアルを参照してください。

■ 通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。



設定項目	設定内容
	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信方式	重要 通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様 を確認し、正しく設定してください。シリアルインターフェイスが対応していな い通信方式を選択した場合の動作は保証できません。シリアルインターフェイス の仕様については表示器のマニュアルを参照してください。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。

設定項目	設定内容
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。
伝送制御手順	接続機器の伝送制御手順を選びます。

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション	-	
H シリーズ SIO	-		[COM1]	Page 1/1
接続機	器名 PLC	01		-
	シリーズ	Η シリーΣ	ズ	
	号機 No.		0 🔻 🔺]
	終了		戻る	2006/05/15 11:30:52

設定項目	設定内容
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])
シリーズ	接続機器の種類を表示します。
号機 No.	接続機器の号機 No. を入力します。

■ オプション

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[オプション]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
H シリーズ SIO			[COM1]	Page 1/1
	RI / VCC RS232Cの場合 かVCC(5V電) す。デジタJ ユニットを行 てください。	● RI 含、9番ピンをRI(J 原供給)にするかを レ製RS2320アイソL 使用する場合は、V) VCC (力)にする 選択できま ノーション CCを選択し	
	終了		戻る	2006/05/15 11:30:54

設定項目	設定内容
RI/VCC	9番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

МЕМО	・ GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT-4*01TM および LT-Rear Module
	の場合、オフラインモードに [オプション] の設定はありません。

5 結線図

以下に示す結線図と日立産機システムが推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線 図でも動作上問題ありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。

結線[図 1
-----	-----

表示器 (接続ポート)		ケーブル ^{*1}	備考			
GP3000 (COM1) GP4000 ^{*2} (COM1)	1A	(株)日立産機システム製 WVCB02H				
SP5000 ⁻⁹ (COM1/2) SP-5B00 (COM1)	1B	自作ケーブル1				
ST3000 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC*4 PC/AT	1C	自作ケーブル 2	ケーブル長: 15m 以内			
GP-4105 (COM1)	1D	自作ケーブル 1	ケーブル長:			
GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	1E	自作ケーブル 2	15m 以内			

*1 通信速度によって配線を変更する必要があります。

	H-200 H-250 H-252B		H-252C		H-300/H-302 H-700/H-702 H-2000/H-2002		H-4010	
	通信速度	配線	通信速度	配線	通信速度	配線	通信速度	配線
ペリフェラルポート1	2400bps 4800bps 9600bps	1B 1D 1A	2400bps 4800bps 9600bps 19200bps	1A 1B 1C 1D	4800bps	DS 1B 1D 1A	4800bps 19200bps	1B 1D 1A, 1C,1E
	192006ps	IC 1E		1E	19200bps	IC 1E	38400bps	1A,1B,1C 1D,1E
ペリフェラルポート2			4800bps	1B,1D			4800bps	1B,1D
			19200bps	1A		_	19200bps	1A, 1C,1E
				1C 1E			38400bps	1A,1B,1C 1D,1E

- *2 GP-4100 シリーズ、GP-4203T を除く全 GP4000 機種
- *3 SP-5B00 を除く
- *4 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^⑦ ■ IPC の COM ポートについて (7ページ)
1A)



1B)

表示器側 D-Sub 9ピン(ソケット) 、					接続機器側 D-Sub 15ピン		
	ピン	信号名		ピン	信号名]	
	2	RD(RXD)		2	SD		
表示器	3	SD(TXD)		3	RD	1	
	6	DR(DSR)		5	CS		
	4	ER(DTR)		7	DR	\vdash	
	5	SG		9	SG		
	7	RS(RTS)		8	PHL		
	8	CS(CTS)		4	RS		
	シェル	FG	<u> </u>	14	PV12]	

1C)

表示器側 D-Sub 9ピン(ソケット)					接続機器側 D-Sub 15ピン		
	ピン	信号名		ピン	信号名]	
	2	RD(RXD)		2	SD		
表示器	3	SD(TXD)		3	RD]	
	6	DR(DSR)		5	CS	┣┑	
	4	ER(DTR)		7	DR	\vdash	
	5	SG		9	SG]	
	7	RS(RTS)		8	PHL	┣	
	8	CS(CTS)		4	RS]	
	シェル	FG] <u>`</u>	14	PV12	\vdash	





1E)



結線図2

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	2A 2B	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長: 250m 以内
GP3000 ^{*4} (COM2)	2C 2D	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長: 250m 以内
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	2E	自作ケーブル	ケーブル長: 250m 以内
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	2F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル	
ST6000 ⁺ (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	2B	自作ケーブル	ケーブル長: 250m 以内
PE-4000B ^{*10} PS5000 ^{*10} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*10}	2G	自作ケーブル	ケーブル長: 250m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

- *4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く

- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、2A の結線図を参照してください。
- *10 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。
 - ^{CP} IPC の COM ポートについて (7 ページ)
 - 2A)
 - 1:1 接続の場合





2B)

1:1 接続の場合





2C)

1:1 接続の場合





2D)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



2E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

2F)

1:1 接続の場合





2G)

1:1 接続の場合





結線図3

表示器 (接続ポート)		ケーブル ^{*1}	備考	
GP3000 (COM1) GP4000 ^{*2} (COM1) SP5000 ^{*3} (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST6000 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC ^{*4} PC/AT	3A	(株) 日立産機システム製 EH-VCB02(2m)		
	 (株)日立産機システム製 WVCB02H(2m) + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05(0.5m) 			
	3C	自作ケーブル 1 + (株) 日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05(0.5m)	りーフル _展 : 15m 以内	
	3D	自作ケーブル 2 + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05(0.5m)		
	3E	自作ケーブル + (株)日立産機システム製 EH-VCB02(2m)		
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	3F	自作ケーブル 1 + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05(0.5m)	ケーブル長: 15m 以内	
	3G	自作ケーブル 2 + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05(0.5m)		

*1 通信速度によって配線を変更する必要があります。

	EH-150			
	通信速度	配線		
ペリフェラルポート1 あるいは シリアルポート1	4800bps 9600bps 19200bps 38400bps	3A,3B 3C,3D 3E,3F,3G		
ペリフェラルポート2	4800bps 9600bps	3A,3C 3E,3F		
あるいは シリアルポート 2	19200bps 38400bps	3B,3D 3G		

- *2 GP-4100 シリーズ、GP-4203T を除く全 GP4000 機種
- *3 SP-5B00 を除く
- *4 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^{CP} ■ IPC の COM ポートについて (7ページ)

3A)



3B)



3C)



3D)



3E)



3F)



3G)



結線図4

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考	
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2)	4A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長: 500m 以内	
LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	4B	自作ケーブル + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05		
GP3000 ^{*4} (COM2)	4C	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長 : 500m 以内	
	4D	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01		
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	4E	自作ケーブル + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05	ケーブル長: 500m 以内	
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000 ^{*7} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	4F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05	ケーブル長:	
	4B	自作ケーブル + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05	500m 以内	
PE-4000B ^{*10} PS5000 ^{*10} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*10}	4G	自作ケーブル + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05	ケーブル長: 500m 以内	

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

- *4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く
- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、4A の結線図を参照してください。
- *10 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^{CP} ■ IPC の COM ポートについて (7 ページ)

4A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



4B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



4C)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合







*終端抵抗については、(株)日立産機システムにお問い合わせください。

4E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



4F)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



4G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



結線図 5

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2)	5A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長 : 500m 以内
LT3000 (COM1)	5B	自作ケーブル + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05	
GP3000 ^{*3} (COM2)	5C 5D	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長: 500m 以内
		(株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05	
IPC ^{*4}	5E	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長 : 500m 以内
	5F	自作ケーブル + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05	

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	5G	自作ケーブル + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05	ケーブル長: 500m 以内
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ^{*5} (COM2) GP-4203T (COM1)	5H	自作ケーブル + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05	ケーブル長: 500m 以内
GP4000 ^{*6} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*7} (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000 ^{*8} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*9} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	51	 (株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1^{*10} + 自作ケーブル + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05 	ケーブル長: 500m 以内
	5B	自作ケーブル	
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	5J	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81 + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05	ケーブル長: 200m 以内
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	5K	自作ケーブル + (株) 日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05	ケーブル長: 500m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

- *3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

IPC の COM ポートについて (7 ページ)

- *5 GP-4203T を除く
- *6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *7 SP-5B00 を除く
- *8 ST-6200 を除く
- *9 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- *10 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、5A の結線図を参照してください。

5A)

1:1 接続の場合













5C)

1:1 接続の場合





5D)



1:n 接続の場合



自作ケーブル

5E)

1:1 接続の場合





5F)

1:1 接続の場合





5G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

5H)



1:n 接続の場合





 表示器の 5V 出力(6番ピン)は Siemens 製 PROFIBUS コネクタ用電源です。その 他の機器の電源には使用できません。

MEMO	•	GP-4107 の	COM 7	ではSG。	とFG	が絶縁	されて	います。
------	---	-----------	-------	-------	-----	-----	-----	------



1:1 接続の場合





5J)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	

5K)

1:1 接続の場合





結線図 6

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	6A 6B	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長: 500m 以内
GP3000 ^{*4} (COM2)	6C 6D	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長 : 500m 以内
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	6E	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000 ^{*7} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2) PS6000 ($\prec - \checkmark \lor ?$ $\forall \lor ? ?$ (COM1/2)	6F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル	
	6B	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内
PE-4000B ^{*10} PS5000 ^{*10} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*10}	6G	自作ケーブル	ケーブル長 : 500m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

- *4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く
- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、6A の結線図を参照してください。
- *10 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

IPC の COM ポートについて (7 ページ)

6A)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



自作ケーブル

6B)

1:1 接続の場合





6C)

1:1 接続の場合





6D)

1:1 接続の場合





6E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

6F)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

6G)

1:1 接続の場合





結線図 7

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
$GP3000^{*1}$ (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2)	7A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長 : 500m 以内
LT3000 (COM1)	7B	自作ケーブル	
GP3000 ^{*3} (COM2)	7C	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 	ケーブル長:
GF3000 (COM2)	7D	日作ワーフル (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	500m LAPA
IPC ^{*4}	7E 7F	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長: 500m 以内
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	7G	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ^{*5} (COM2) GP-4203T (COM1)	7H	自作ケーブル	ケーブル長: 500m以内
GP4000 ^{*6} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*7} (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	71	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{*10} + 自作ケーブル	
S16000 ° (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*9} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	7B	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	7J	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	ケーブル長 : 200m 以内

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000(オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	7K	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

- *2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- *3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

IPC の COM ポートについて (7 ページ)

*5 GP-4203T を除く

*6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

- *7 SP-5B00 を除く
- *8 ST-6200 を除く
- *9 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略し てください。
- *10 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01)を使用する 場合、7A の結線図を参照してください。

7A)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



自作ケーブル

7B)

1:1 接続の場合





7C)

1:1 接続の場合





7D)

1:1 接続の場合





7E)

1:1 接続の場合





7F)

1:1 接続の場合





7G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

7H)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



要

 表示器の 5V 出力(6番ピン)は Siemens 製 PROFIBUS コネクタ用電源です。その 他の機器の電源には使用できません。

7I)

1:1 接続の場合





7J)

1:1 接続の場合





番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	

7K)

1:1 接続の場合





結線図 8

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	8A 8B	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長: 250m 以内
GP3000 ^{*4} (COM2)	8C 8D	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長 : 250m 以内
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	8E	自作ケーブル	ケーブル長: 250m 以内
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	8F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル	
ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	8B	自作ケーブル	ケーブル長: 250m 以内
PE-4000B ^{*10} PS5000 ^{*10} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*10}	8G	自作ケーブル	ケーブル長: 250m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

- *4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く

- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略し てください。
- *9 RS-422端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01)を使用する 場合、8A の結線図を参照してください。

8A)

1:1 接続の場合





8B)

1:1 接続の場合





8C)

1:1 接続の場合





8D)

1:1 接続の場合







8E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

8F)

1:1 接続の場合





8G)

1:1 接続の場合

[表 こ-Sub 9ピン	示器側 ン(ソケット)	接続 D-Sub 15 ヒ	機器側 ピン(プラグ)	
終端抵抗 120 0/1/2000	ピン	信号名		ピン	信号名	
120 sr(1/200)	3	Rx+		13	SDP	
Ž	4	Rx-		12	SDN	
表示器	2	Tx+		11	RDP	
	1	Tx-		10	RDN	
	5	GND		7	SG	
	6	NC		9	RT -	
	7	NC		14	RSP	
	8	NC		15	CSN	
	9	NC				
	シェル	FG				



結線図 9

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
$GP3000^{*1}$ (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2)	9A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長: 250m 以内
LT3000 (COM1)	9B	自作ケーブル	
GP3000 ^{*3} (COM2)	9C	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長: 250m 以内
	9D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ^{*4}	9E 9F	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 自作ケーブル 	ケーブル長: 250m 以内
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	9G	自作ケーブル	ケーブル長: 250m 以内
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ^{*5} (COM2) GP-4203T (COM1)	9Н	自作ケーブル	ケーブル長: 250m 以内
GP4000 ^{*6} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*7} (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	9I	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{*10} + 自作ケーブル	
S16000 ° (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*9} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	9B	自作ケーブル	ケーブル長 : 250m 以内
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	9J		ケーブル長 : 200m 以内

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	9K	自作ケーブル	ケーブル長 : 250m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

- *2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- *3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

^{CP} ■ IPC の COM ポートについて (7 ページ)

*5 GP-4203T を除く

*6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

- *7 SP-5B00 を除く
- *8 ST-6200 を除く
- *9 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- *10 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、9A の結線図を参照してください。

9A)

1:1 接続の場合





9B)

1:1 接続の場合





9C)

1:1 接続の場合





9D)

1:1 接続の場合







9E)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



自作ケーブル

9F)

1:1 接続の場合




9G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

9H)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合





 表示器の 5V 出力(6番ピン)は Siemens 製 PROFIBUS コネクタ用電源です。その 他の機器の電源には使用できません。

```
MEMO
```

• GP-4107の COM では SG と FG が絶縁されています。

9I)

1:1 接続の場合





9J)

1:1 接続の場合





自作ケーブル

番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	

9K)

1:1接続の場合





結線図 10

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	10A 10B	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長: 500m 以内
GP3000 ^{*4} (COM2)	10C 10D	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長 : 500m 以内
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	10E	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000 ^{*7} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	10F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル	
	10B	自作ケーブル	ケーブル長 : 500m 以内
PE-4000B ^{*10} PS5000 ^{*10} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*10}	10G	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

- *4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く

- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略し てください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01)を使用する 場合、10A の結線図を参照してください。

10A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

10B)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



10C)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

10D)

1:1 接続の場合





10E)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

10F)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

10G)

1:1 接続の場合





結線図 11

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
$GP3000^{*1}$ (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2)	11A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長: 500m 以内
LT3000 (COM1)	11B	自作ケーブル	
GP3000 ^{*3} (COM2)	11C	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長: 500m 以内
	11D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	500111 247 3
IPC ^{*4}	11E 11F	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長: 500m 以内
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	11G	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ^{*5} (COM2) GP-4203T (COM1)	11H	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内
GP4000 ^{*6} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*7} (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	111	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{*10} + 自作ケーブル	
S16000 ° (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*9} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	11B	自作ケーブル	ケーブル長 : 500m 以内
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	11J	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	ケーブル長: 200m 以内

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	11K	自作ケーブル	ケーブル長 : 500m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

- *3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

^{CP} ■ IPC の COM ポートについて (7 ページ)

*5 GP-4203T を除く

*6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

- *7 SP-5B00 を除く
- *8 ST-6200 を除く
- *9 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略し てください。
- *10 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01)を使用する 場合、11A の結線図を参照してください。

11A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

11B)

1:1 接続の場合





11C)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

11D)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



自作ケーブル

11E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

11F)

1:1 接続の場合





11G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

11H)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合





表示器の5V出力(6番ピン)はSiemens製 PROFIBUSコネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。

MEMO	・ GP-4107 の COM では SG と FG が絶縁されています。	
------	---------------------------------------	--

11I)

1:1 接続の場合





11J)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	

11K)

1:1 接続の場合





結線図 12

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000 ^{*1} (COM1) SP5000 ^{*2} (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC ^{*3} PC/AT	12A	自作ケーブル + (株) 日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05(0.5m)	ケーブル長: 15m 以内
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	12B	自作ケーブル + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05(0.5m)	ケーブル長: 15m 以内
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	12C	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21 + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05(0.5m)	ケーブル長: 5m以内

*1 GP-4100 シリーズ、GP-4203T を除く全 GP4000 機種

*2 SP-5B00 を除く

*3 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ⁽²⁾ ■ IPC の COM ポートについて (7 ページ)

12A)









12C)



番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21	

結線図 13

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	13A 13B	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長: 500m 以内
GP3000 ^{*4} (COM2)	13C 13D	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長: 500m 以内
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	13E	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000 ^{*7} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	13F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル	
	13B	自作ケーブル	ケーブル長 : 500m 以内
PE-4000B ^{*10} PS5000 ^{*10} PS6000 (オプション インターフェイス) ^{*10}	13G	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

*3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

🎯 🖬 IPC の COM ポートについて (7 ページ)

- *4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く

- COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略し *8 てください。
- RS-422端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01)を使用する *9 場合、13Aの結線図を参照してください。
- *10 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ⁽³⁾ ■ IPC の COM ポートについて (7 ページ)

13A)

1:1 接続の場合



自作ケーブル



MEMO	 接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1を ON にして終端抵抗 (100Ω) を
	挿入してください。

13B)

1:1 接続の場合





・ 接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1を ON にして終端抵抗 (100Ω)を MEMO 挿入してください。

13C)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



МЕМО

接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1をONにして終端抵抗(100Ω)を 挿入してください。

13D)

1:1 接続の場合



自作ケーブル

1:n 接続の場合



MEMO

 接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1をONにして終端抵抗 (100Ω)を 挿入してください。

13E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO	•	接続の終端となる接続機器のディップスイッチ 1 を ON にして終端抵抗 (100Ω) を 挿入してください。

*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

13F)

表示器

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO ・ 接続の終端となる接続機器のディップスイッチ 1 を ON にして終端抵抗 (100Ω) を 挿入してください。

13G)

1:1 接続の場合




結線図 14

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考		
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module	14A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 	ケーブル長:		
(COM1) ST3000 ^{*2} (COM2)		+ 自作ケーブル	500m 以内		
	14B	自作ケーブル			
		(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 +			
CD2000*3 (CO)(2)	14C	(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 +	ケーブル長:		
GP3000 ⁹ (COM2)		自作ケーブル	500m 以内		
	14D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 +			
		自作ケーブル			
		(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +			
IPC ^{*4}	14E	+ (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 500			
		自作ケーブル			
	14F	自作ケーブル			
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	14G	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内		
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ^{*5} (COM2) GP-4203T (COM1)	14H	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内		
GP4000 ^{*6} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*7} (COM1/2)	14I	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{*10} +			
SP-5B00 (COM1/2) SP-5B00 (COM2)		自作ケーブル			
ST6000 ^{*8} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*9} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	14B	自作ケーブル	ケーブル長 : 500m 以内		
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	14J	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	ケーブル長: 200m 以内		

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	14K	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

- *2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- *3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

IPC の COM ポートについて (7 ページ)

- *5 GP-4203T を除く
- *6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *7 SP-5B00 を除く
- *8 ST-6200 を除く
- *9 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- *10 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、14A の結線図を参照してください。

14A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1をONにして終端抵抗(100Ω)を 挿入してください。

14B)

1:1 接続の場合

C	表示: Sub 9ピン	器側 ⁄ (ソケット))	接続 RJ-45	機器側 コネクタ
終端抵抗 100 Q(1/2)\/)	ピン	信号名		ピン	信号名
100 st (1/2 VV)	1	RDA	┝╾┼┑╶╱┟╲─┤	3	ТΧ
Ž	2	RDB	┝┿┧╴┊╎┍┿┥	5	TXN
表示器	3	SDA	│ <mark>┊╎<mark>↓</mark> ∧ ┊<mark>↓</mark>│┊ →│</mark>	7	RX
	7	SDB	<u>│</u>	6	RXN
	5	SG	$\vdash \bigvee \dashv$	1	SG
	4	ERA	h T		
	8	CSA	↓		
	9	ERB	hl		
	6	CSB	┝╾┘		
	シェル	FG			



MEMO	•	接続の終端となる接続機器のディップスイッチ 1 を ON にして終端抵抗 (100Ω) を
		挿入してください。

14C)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



МЕМО	•	接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1を ON にして終端抵抗 (100Ω)を
		挿入してください。

14D)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



мемо

接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1をONにして終端抵抗(100Ω)を 挿入してください。

14E)

1:1 接続の場合





MEMO	•	接続の終端となる接続機器のディップスイッチ 1 を ON にして終端抵抗 (100Ω) を 挿入してください。

14F)

1:1 接続の場合





・ 接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1を ON にして終端抵抗 (100Ω)を MEMO 挿入してください。

14G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1をONにして終端抵抗 (100Ω)を 挿入してください。

*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

14H)

1:1 接続の場合

表示器側 <u>D-sub 9ピン(プラグ</u>)			⁽⁾ シールド	接続機器側 RJ-45コネクタ		
終端抵抗 100.0 (1/2)(4)	ピンNo.	信号名	/>	ピン	信号名	
100 \$2(1/200)	3	LINE(+)		3	TX	
Ž	8	LINE(-)	╺╶┼╾╴╯╰┼┳┼┼╌┤	5	TXN	
表示器	1	NC	┆╵└┼→	7	RX	
	2	NC	│	6	RXN	
	5	GND(SG)	$\vdash \backslash \longrightarrow \vdash$	1	SG	
	4	RS(RTS)				
	6	5V				
	7	NC				
	9	NC				
	シェル	FG				



重要	•	表示器の 5V 出力(6 番ピン)は Siemens 製 PROFIBUS コネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。
MEMO	•	接続の終端となる接続機器のディップスイッチ 1 を ON にして終端抵抗 (100Ω) を 挿入してください。
	٠	GP-4107の COM では SG と FG が絶縁されています。

14I)

表示器

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



мемо

接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1をONにして終端抵抗(100Ω)を 挿入してください。

14J)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	

MEMO ・ 接続の終端となる接続機器のディップスイッチ 1 を ON にして終端抵抗 (100Ω) を 挿入してください。

14K)

1:1 接続の場合





・ 接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1を ON にして終端抵抗 (100Ω)を MEMO 挿入してください。

結線図 15

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
$GP3000^{*1}$ (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2)	15A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長: 500m 以内
LT3000 (COM1)	15B	自作ケーブル	
GD2000*3 (GOM2)	15C	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長:
GF3000 (COM2)	15D	自作ケーブル (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	500m 以内
IPC ^{*4}	15E 15F	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長: 500m 以内
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	15G	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ^{*5} (COM2) GP-4203T (COM1)	15H	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内
GP4000 ^{*6} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*7} (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	151	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{*10} + 自作ケーブル	
S16000 ° (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*9} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	15B	自作ケーブル	ケーブル長 : 500m 以内
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	15J	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	ケーブル長: 200m 以内

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	15K	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

- *2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- *3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

IPC の COM ポートについて (7 ページ)

- *5 GP-4203T を除く
- *6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *7 SP-5B00 を除く
- *8 ST-6200 を除く
- *9 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- *10 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、15A の結線図を参照してください。

15A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

接続の終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にして終端抵抗 (120Ω) を有効にしてください。

15B)

1:1 接続の場合





MEMO	•	接続の終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にして終端抵抗 (120Ω) を有
		効にしてください。

15C)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO ・ 接続の終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にして終端抵抗 (120Ω) を有 効にしてください。

15D)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



мемо

接続の終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にして終端抵抗 (120Ω) を有効にしてください。

15E)

1:1 接続の場合





MEMO	•	接続の終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にして終端抵抗 (120Ω) を有
		効にしてください。

15F)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

接続の終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にして終端抵抗 (120Ω) を有 効にしてください。

15G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

接続の終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にして終端抵抗 (120Ω) を有効にしてください。

*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

15H)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



重	要

表示器の5V出力(6番ピン)はSiemens製PROFIBUSコネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。

MEMO	•	接続の終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にして終端抵抗 (120Ω) を有 効にしてください。
	•	GP-4107 の COM では SG と FG が絶縁されています。

15I)

表示器

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



мемо

接続の終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にして終端抵抗 (120Ω) を有効にしてください。

15J)

1:1 接続の場合



MEMO ・ 接続の終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にして終端抵抗 (120Ω) を有 効にしてください。



番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	

15K)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

接続の終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にして終端抵抗 (120Ω) を有 効にしてください。

6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。

6.1 H/EH-150/MICRO-EH シリーズ

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	ダブルワード アドレス	32 bit	備考
外部入力	X00000-X05A95	WX0000- WX05A7	DX0000-DX05A6		*1 *2
外部出力	Y00000-Y05A95	WY0000- WY05A7	DY0000-DY05A6		*2
リモート入力リレー	X10000-X49995	WX1000-WX4997	DX1000-DX4996		*1 *3
リモート出力リレー	Y10000-Y49995	WY1000-WY4997	DY1000-DY4996		*3
内部出力	R000-R7BF		_		
特殊内部出力	R7C0-R7FF		_		
データエリア	M0000-M3FFF	WM000-WM3FF	DM000-DM3FE		
第 1 CPU リンク	L00000-L03FFF	WL0000-WL03FF	DL0000-DL03FE		
第 2 CPU リンク	L10000-L13FFF	WL1000-WL13FF	DL1000-DL13FE		
オンディレータイマ	TD0000 -TD1023		_		
シングルショットタイマ	SS0000-SS1023	_	—		
ウオッチドッグタイマ	WDT0000- WDT1023	_	_	<u>[L/H</u>]	
モノステーブルタイマ	MS0000-MS1023	_	_		
積算タイマ	TMR0000- TMR1023	_	_		
アップカウンタ	CU0000-CU2047	_	—		
リングカウンタ	RCU0000- RCU2047	_	_		
アップダウンカウンタ	СТ0000-СТ2047		_		
拡張タイマ	TM0000 - TM2047	_	_		
タイマ・カウンタ (経過値)	_	TC0000-TC2047	_		
拡張タイマ (経過値)	_	TV0000 - TV2047	_		

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	ダブルワード アドレス	32 bit	備考
ワード内部出力	—	WR0000- WRC3FF	DR0000-DRC3FE		Bit F
特殊ワード内部出力	_	WRF000- WRF1FF	DRF000-DRF1FE	[L/H]	вit F
ネットワークリンクエリア	_	WN0000- WN7FFF	DN0000-DN7FFE		Bit F

*1 書込み不可

*2 次のように指定します。

< 例>外部入力ユニット No.1、スロット No.2、モジュール内ビット No.34 の場合

X01234 モジュール内ビットNo. (00~95) 10進数 スロットNo. (0~A) 16進数 ユニットNo. (0~5)

< 例>外部入力ユニット No.1、スロット No.2、モジュール内ワード No.3 の場合

WX0123 モジュール内ワードNo. (0~7) スロットNo. (0~A) 16進数

____ユニットNo. (0∼5)

*3 次のように指定します。

<例>リモート外部入力リモートマスタ No.1、リモートスレーブ No.2、スロット No.3、モジュール 内ビット No.45 の場合



<例>リモート外部入力リモートマスタ No.1、リモートスレーブ No.2、スロット No.3、モジュール 内ワード No.4 の場合

> WX1234 モジュール内ワードNo. (0~7) スロットNo. (0~9) リモートスレーブNo. (0~9) リモートススタNo. (1~4)

MEMO• 使用できるデバイスの種類、範囲は CPU によって異なる場合があります。ご使用に なられる前に、各 CPU のマニュアルでご確認ください。

■ CPU リンクを使用する場合のアドレス設定方法

「CPU リンクを使用」のチェックボックスを ON にします。 CPU リンクを使用する場合は、アドレスにループ番号とユニット番号が付加されます。

🏄 アドレスブ	(カ(ワード)							2	×
接続機器	PLC1		_	_			_	•	[
🔽 OPU 🕖	/クを使用	WR		•	000	0	_	_	
ループ番号	ユニット番号		Ba	ack			С	lr	
1 3/	0 = 1/	А	В	С		7	8	9	
		D	Ε	F		4	5	6	
						1	2	3	
						0	E	nt	
									_

<例>ループ番号1、ユニット番号2の場合



MEMO ・システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞ 「表記のルール」

6.2 Web コントローラシリーズ

____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	ダブルワード アドレス	32 bit	備考
外部入力	X0000-X0012 X1000-X1015 X2000-X2015 X3000-X3015 X4000-X4015	WX030-WX031 WX100-WX104 WX200-WX204 WX300-WX304 WX400-WX404	DX030 DX100-DX103 DX200-DX203 DX300-DX303 DX400-DX403		*1
外部出力	Y0100-Y0109 Y1016-Y1031 Y2016-Y2031 Y3016-Y3031 Y4016-Y4031	WY40 WY105-WY107 WY205-WY207 WY305-WY307 WY405-WY407	DY105-DY106 DY205-DY206 DY305-DY306 DY405-DY406		
内部出力	R000-R7BF	_	_		
特殊内部出力	R7C0-R7FF	_	_		
データエリア	M0000-M3FFF	WM000-WM3FF	DM000-DM3FE	rL / Hi	
オンディレータイマ	TD000-TD255	_	_		*2
シングルショットタイマ	SS000-SS255	_	_		*2
アップカウンタ	CU000-CU255		_		*2
アップダウンカウンタ	CT000-CT255		_		*2 *3
タイマ・カウンタ (経過値)	_	TC000-TC255	_		
ワード内部出力	_	WR0000- WRC3FF	DR0000-DRC3FE		*4 <u>Bit</u> F
ワード特殊内部出力		WRF000- WRF1FF	DRF000-DRF1FE		Bit F

*1 書込み不可

*2 ラダープログラム上でそれぞれのタイマ、カウンタを定義する必要があります。

*3 アップダウンカウンタアップ入力、アップダウンカウンタダウン入力は共に CT で指定しますが、接 続機器でのデバイス名はそれぞれ CTU、CTD です。

CTU にアクセスする場合は、接続機器のラダープログラム上で該当のアドレスを CTU と定義しま す。同様に、CTD にアクセスする場合は、接続機器のラダープログラム上で該当のアドレスを CTD と定義します。

*4 EH-WD10DRの場合、アドレス範囲は「WR0000-WR3FFF」、「DR0000-DR3FFE」です。

MEMO ・システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

> 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専 用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

6.3 EHV シリーズ

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	ダブルワード アドレス	32 bit	備考
外部入力	X00000-X05A95	WX0000- WX05A7	DX0000-DX05A6		*1 *2
外部出力	Y00000-Y05A95	WY0000- WY05A7	DY0000-DY05A6		*2
リモート入力リレー	X10000-X45A95	WX1000- WX45A7	DX1000-DX45A6		*1 *3
リモート出力リレー	Y10000-Y45A95	WY1000- WY45A7	DY1000-DY45A6		*3
拡張外部入力	EX00000- EX5A7FF	WEX0000-WEX- 5A7F	DEX0000-DEX- 5A7E		*1
拡張外部出力	EY00000- EY5A7FF	WEY0000- WEY5A7F	DEY0000- DEY5A7E		
内部出力	R000-R7BF	_	—		
特殊内部出力	R7C0-RFFF	_	_		
データエリア	M00000-M7FFFF	WM0000- WM7FFF	DM0000- DM7FFE		
第 1CPU リンク	L00000-L03FFF	WL0000-WL03FF	DL0000-DL03FE		
第 2CPU リンク	L10000-L13FFF	WL1000-WL13FF	DL1000-DL13FE		
第 3CPU リンク	L20000-L23FFF	WL2000-WL23FF	DL2000-DL23FE	[L / H]	
第 4CPU リンク	L30000-L33FFF	WL3000-WL33FF	DL3000-DL33FE		
第 5CPU リンク	L40000-L43FFF	WL4000-WL43FF	DL4000-DL43FE		
第 6CPU リンク	L50000-L53FFF	WL5000-WL53FF	DL5000-DL53FE	1	
第 7CPU リンク	L60000-L63FFF	WL6000-WL63FF	DL6000-DL63FE		
第 8CPU リンク	L70000-L73FFF	WL7000-WL73FF	DL7000-DL73FE		
オンディレータイマ	TD0000-TD2559	_	_		
オフディレータイマ	TDN0000- TDN2559	_	_		
シングルショットタイマ	SS0000-SS2559	_	_		
ウオッチドッグタイマ	WDT0000- WDT2559	_	_		
モノステーブルタイマ	MS0000-MS2559	_	_		
積算タイマ	TMR0000- TMR2559	_	_		
アップダウンカウンタ	CT000-CT511	_	_		
アップカウンタ	CU000-CU511	_	_		

デバイス	ビットアドレス	ビットアドレス ワードアドレス ダブルワード アドレス		32 bit	備考
リンクカウンタ	RCU000-RCU511	—			
タイマ・カウンタ (経過値)	-	TC0000-TC2559	—		
ワード内部出力	WR0000.0- WREFFF.F	WR0000- WREFFF	DR0000-DREFFE	[L / H]	
特殊ワード内部出力	WRF000.0- WRFFFF.F	WRF000- WRFFFF	DRF000-DRFFFE		
データエリア	WN00000.0- WN1FFFF.F	WN00000- WN1FFFF	DN00000- DN1FFFE		

*1 書込み不可

*2 次のように指定します。

< 例>外部入力ユニット No.1、スロット No.2、モジュール内ビット No.34 の場合

X01234 モジュール内ビットNo. (00~95) 10進数 スロットNo. (0~A) 16進数 ユニットNo. (0~5)

< 例>外部入力ユニット No.1、スロット No.2、モジュール内ワード No.3 の場合

WX0123 モジュール内ワードNo. (0~7) スロットNo. (0~A) 16進数 ユニットNo. (0~5)

*3 次のように指定します。

<例>リモート外部入力リモートマスタ No.1、リモートスレーブ No.2、スロット No.3、モジュール 内ビット No.45 の場合



<例>リモート外部入力リモートマスタ No.1、リモートスレーブ No.2、スロット No.3、モジュール 内ワード No.4 の場合

■ CPU リンクを使用する場合

「CPU リンクを使用」のチェックボックスを ON にします。 CPU リンクを使用する場合は、アドレスにループ番号とユニット番号が付加されます。

💰 アドレスブ	(カ(ワード)								×
接続機器	PLC1			_		_		•	1
🔽 OPU US	/クを使用	WR	_	•	- 000)			
ループ番号	ユニット番号		Ba	ack			С	lr	
1 3/	0 = 1/	Α	В	С		7	8	9	
		D	Ε	F		4	5	6	
						1	2	3	
						0	E	nt	

<例>ループ番号1、ユニット番号2の場合



MEMO ・システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「『「表記のルール」

6.4 MICRO-EHV シリーズ

____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	ダブルワード アドレス	32 bit	備考
外部入力	X0000-X0039	WX000-WX002	DX000		*1
外部出力	Y0100-Y0123	WY010-WY011	DY000		
内部出力	R000-R7BF				
特殊内部出力	R7C0-RFFF	_	_		
データエリア	M0000-M7FFF	WM000-WM7FF	DM000-DM7FE		
オンディレータイマ	TD0000-TD2047	—	—		
オフディレータイマ	TDN0000- TDN2047	_	_		
シングルショットタイマ	SS0000-SS2047	_	_		
ウオッチドッグタイマ	WDT0000- WDT2047	_	_		
モノステーブルタイマ	MS0000-MS2047	—	_	[L / H]	
積算タイマ	TMR0000- TMR2047	I	I		
アップダウンカウンタ	CT000-CT511		-		
アップカウンタ	CU000-CU511				
リンクカウンタ	RCU000-RCU511				
タイマ・カウンタ (経過値)	-	TC0000-TC2047	-		
ワード内部出力	WR0000.0- WR7FFF.F	WR0000- WR7FFF	DR0000-DR7FFE		
特殊ワード内部出力	WRF000.0- WRF1FF.F	WRF000- WRF1FF	DRF000-DRF1FE		

*1 書込み不可

MEMO

 システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「『「表記のルール」

7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します。

7.1 H/EH-150/MICRO-EH シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード		
	Х	20	ワードアドレス		
外部入力	WX	80	ワードアドレス		
	DX	20	ワードアドレス		
	Y	Q1	ワードアドレス		
外部出力	WY	81	ワードアドレス		
	DY	21	ワードアドレス		
	М	82	ワードアドレス		
データエリア	WM	62	ワードアドレス		
	DM	22	ワードアドレス		
	L	83	ワードアドレス		
CPU リンク	WL	85	ワードアドレス		
	DL	23	ワードアドレス		
タイマ・カウンタ (経過値)	TC	60	ワードアドレス		
拡張タイマ TV (経過値) TV		61	ワードアドレス		
	WR	00	ワードアドレス		
	DR	24	ワードアドレス		
	WN	01	ワードアドレス		
ネットワークリンクエリア 	DN	25	ワードアドレス		

7.2 Web コントローラシリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード	
	Х	80	ワードアドレス	
外部入力	WX	80	ワードアドレス	
	DX	20	ワードアドレス	
	Y	91	ワードアドレス	
外部出力	WY	01	ワードアドレス	
	DY	21	ワードアドレス	
	М	82	ワードアドレス	
データエリア	WM	82	ワードアドレス	
	DM	22	ワードアドレス	
タイマ・カウンタ(経過値)	TC	60	ワードアドレス	
 ワード内部出力	WR	00	ワードアドレス	
ワード特殊内部出力	DR	24	ワードアドレス	
7.3 EHV シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
	Х	80	ワードアドレス
外部入力	WX	00	ワードアドレス
	DX	20	ワードアドレス
	Y	81	ワードアドレス
外部出力	WY	01	ワードアドレス
	DY	21	ワードアドレス
	EX	84	ワードアドレス
拡張外部入力	WEX	04	ワードアドレス
	DEX	26	ワードアドレス
	EY	85	ワードアドレス
拡張外部出力	WEY	85	ワードアドレス
	DEY	27	ワードアドレス
	М	82	ワードアドレス
データエリア	WM		ワードアドレス
	DM	22	ワードアドレス
	L	83	ワードアドレス
CPU リンク	WL		ワードアドレス
	DL	23	ワードアドレス
	WR	00	ワードアドレス
	DR	24	ワードアドレス
データエリス	WN	01	ワードアドレス
	DN	25	ワードアドレス
タイマ・カウンタ (経過値)	TC	60	ワードアドレス

7.4 MICRO-EHV シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
	Х	80	ワードアドレス
外部入力	WX		ワードアドレス
	DX	20	ワードアドレス
	Y	- 81 - 21	ワードアドレス
外部出力	WY		ワードアドレス
	DY		ワードアドレス
	М	82	ワードアドレス
データエリア	WM		ワードアドレス
	DM	22	ワードアドレス
タイマ・カウンタ (経過値)	TC	60	ワードアドレス
	WR	00	ワードアドレス
リート内部出力	DR	24	ワードアドレス
林林口 心中却山中	WRF	01	ワードアドレス
神探リード内部面力 DRF	25	ワードアドレス	

8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のよう に表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容	
番号	エラー番号	
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の名称です。(初期値 [PLC1])	
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。	
エラー発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。 MEMO • IP アドレスは「IP アドレス (10 進数): MAC アドレス (16 進数)」のように表示 されます。 • デバイスアドレスは「アドレス: デバイスアドレス」のように表示されます。 • 受信エラーコードは「16 進数[16 進]」のように表示されます。	

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード:[02H,02H])」

MEMO	 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
'	• ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守 / トラブル解決ガイド」の「表
	示器で表示されるエラー」を参照してください。

■ 接続機器特有のエラーコード

エラーコードは分割された2バイトのコードとして送信されます。表示器は1バイトコードを使用し てエラー番号を表示します。

<例>

リプライコマンド	リターンコード	エラー表示
<u>01</u>	<u>07</u>	<u>01</u> <u>07</u>
		↑ ↑

エラーコード	説明
01, 05	要求されたポイントの数が指定の範囲外である
01, 06	指定されたデバイスが存在しない
01, 07	指定されたデバイスアドレスが範囲外である

MEMO

受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。

■ 接続機器特有のエラーメッセージ

エラー番号	エラーメッセージ	内容
RHxx128	(接続機器名):通信開始要求で エラー応答を受信しました(受 信エラーコード[(16進数,16 進数)])	通信開始要求で接続機器からエラー応答を受信し ました。
RHxx129	(接続機器名):読出し要求でエ ラー応答を受信しました(受信 エラーコード[(16進数,16進 数)])	読出し要求で接続機器からエラー応答を受信しま した。
RHxx130	(接続機器名):書込み要求でエ ラー応答を受信しました(受信 エラーコード[(16進数,16進 数)])	書込み要求で接続機器からエラー応答を受信しま した。
RHxx131	(接続機器名):読出し要求でエ ラー応答を受信しました(受信 エラーコード[(16進数,16進 数)]アドレス範囲外デバイス があります)	読出し要求で接続機器からエラー応答を受信しま した。読出しアドレスを確認してください。
RHxx132	(接続機器名):書込み要求でエ ラー応答を受信しました(受信 エラーコード[(16進数,16進 数)]アドレス範囲外デバイス があります)	書込み要求で接続機器からエラー応答を受信しま した。書込みアドレスを確認してください。
RHxx133	 (接続機器名): READ 占有要求 でエラー応答を受信しました (受信エラーコード[(16 進数,16 進数)]自局が CPU を WRITE 占有中) 	READ 占有要求で接続機器からエラー応答を受信 しました。自局の WRITE 占有を解除してくださ い。
RHxx134	 (接続機器名): READ 占有要求 でエラー応答を受信しました (受信エラーコード[(16進数),16進数)]他の4局がすでに READ 占有中) 	READ 占有要求で接続機器からエラー応答を受信 しました。他局の READ 占有を解除してくださ い。
RHxx135	 (接続機器名): READ 占有要求 でエラー応答を受信しました (受信エラーコード[(16進数),16進数)]他局が CPU を WRITE 占有中) 	READ 占有要求で接続機器からエラー応答を受信 しました。他局の WRITE 占有を解除してくださ い。